

孔子
学院

CONFUCIUS INSTITUTE

中日版 日中版

No.1 2023

嬉鱼灯 闹元宵

「嬉魚灯」で元宵節を賑やかに

2023年第1期 / 总第69期 / 双月刊 隔月刊

国际刊号: ISSN 1674-9693 / 国内刊号: CN 11-5963/C

孔子学院

孔子学院

主管：中华人民共和国教育部
主办：中国国际中文教育基金会

主管：中華人民共和國教育部
企画・編集：中國國際中文教育基金會

编辑出版：《孔子学院》编辑部
协 办：上海外国语大学
日语刊合作伙伴：日本早稻田大学孔子学院
总 编 辑：赵灵山 李岩松
副总编辑：郁云峰 衣永刚
主 编：张雪梅
副 主 编：毛小红 钱明丹
编辑：傅 英 刘冬梅（特约） 黄 蕾
主 审：高 洁
审 校：张丽丽 于 帆 高 斌（特约）

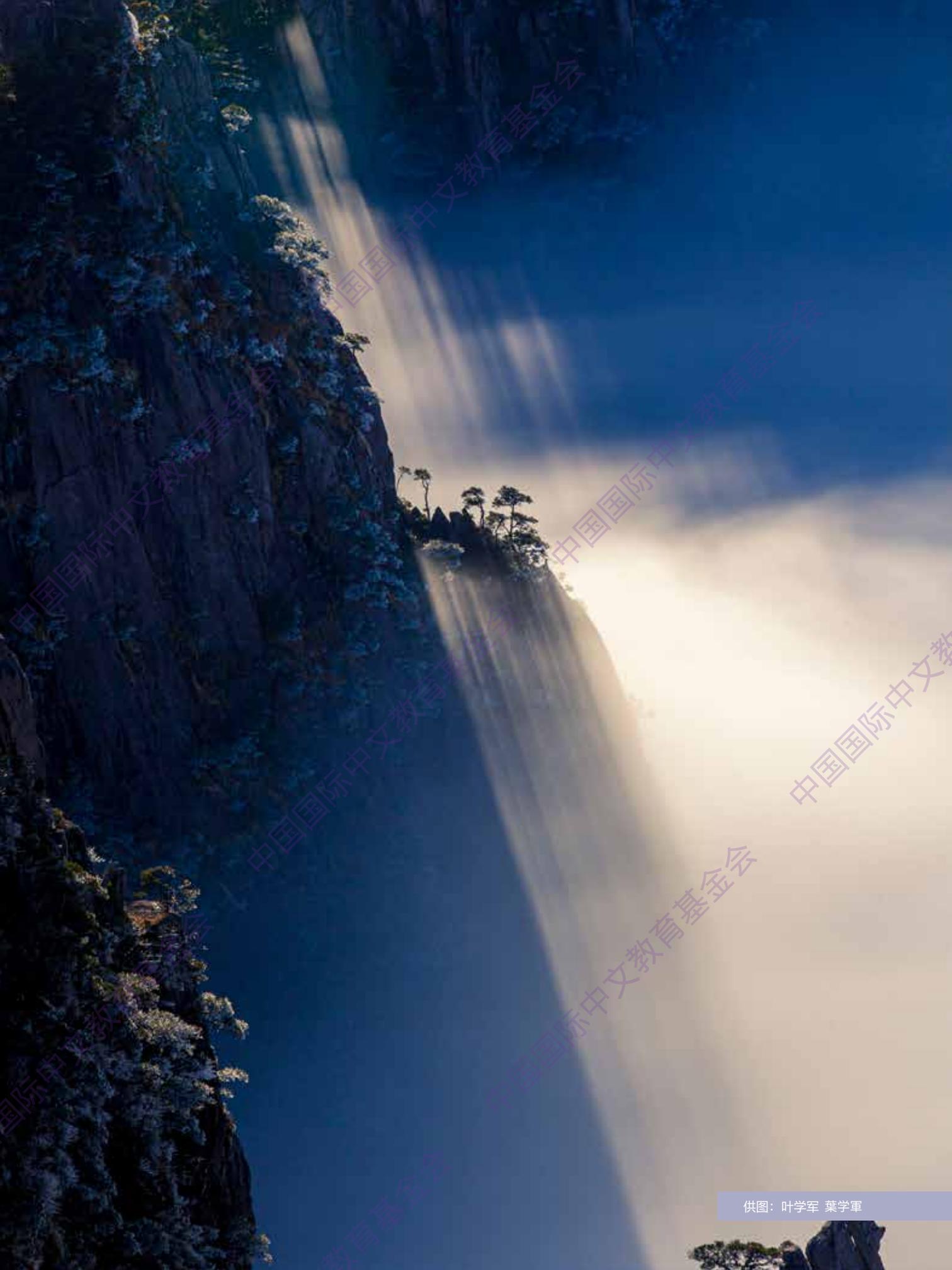
編集出版：『孔子学院』編集部
共同編集：上海外國語大學
日中版編集協力パートナー：早稲田大學孔子學院
総編集長：趙靈山 李岩松
副総編集長：郁雲峰 衣永剛
編 集 長：張雪梅
副編集長：毛小紅 錢明丹
編 集：傅 英 劉冬梅（特約） 黃 蕾
主 審：高 潔
審 校：張麗麗 于 帆 高 斌（特約）

美术设计：徐蕊蕊（特约） 朱浩晔（特约）
排 版：上海景皇文化发展有限公司
印 刷：上海叶大印务发展有限公司
国际连续出版号：ISSN1674-9693
国内统一刊号：CN11-5963/C
邮发代号：80-752

デザイン：徐蕊蕊（特約） 朱浩晔（特約）
組 版：上海景皇文化發展有限公司
印 刷：上海葉大印務發展有限公司
國際標準逐次刊行物番號：ISSN1674-9693
中國國內統一發行番號：CN11-5963/C
郵便登錄番號：80-752

定 价：RMB 16/JPY 550
编辑部地址：北京市海淀区学院路 15 号
邮政编码：100083
编辑部电话：0086-10-63240631
网 站：www.ci.cn
上海编辑部地址：上海市虹口区大连西路 550 号
电 话：0086-21-35377068
投稿邮箱：ci.journal@ci.cn
刊名题字：欧阳中石
封面供图：何 清

定 価：16 元 /550 円
編集部住所：北京市海淀区学院路 15 号
郵便番号：100083
電話番号：0086-10-63240631
ホームページ：www.ci.cn
上海編集部住所：上海市虹口区大連西路 550 号
電話番号：0086-21-35377068
メールアドレス：ci.journal@ci.cn
中国語題字（表紙）：歐陽中石
写 真：何 清



供图：叶学军 葉学軍

目 录 / 目 録



28

供图：苗地 苗地

文化视窗 文化ウィンドウ

夕照秋浦河

夕日下の秋浦河

- 04 中华远古文明的曙光
——凌家滩遗址
太古の中国文明に差す夜明けの光——凌家灘遺跡
- 12 新安画派
新安画派
- 18 日常烟火：安徽的民俗文化
活気に満ちた日常生活：安徽の民俗文化
- 24 文房四宝传雅韵
文房四宝が奏でる伝統の雅な調べ



汉语学习 中国語学習

- 28 二十四节气之立春和雨水
二十四節氣の立春と雨水
- 34 兔年说兔
卯年にまつわるウサギの話

当代中国 当代中国

- 38 黄山，人间瑰宝
黄山：人類の宝物
- 48 安徽的底色：跨越南北的文化
安徽の地色：南北に跨る文化
- 56 江淮粮仓的“丰收密码”
江淮穀倉の「豊作のカギ」
- 64 安徽制造，“皖美”前行
安心と信頼の安徽製

孔院链接 孔院リンク

- 72 爷爷为我打年糕
祖父がついてくれた正月の餅
- 78 新年祝福
新年祝い



78



中华远古文明的曙光

凌家滩遗址

凌家滩遗址位于安徽省马鞍山市含山县铜闸镇凌家滩自然村。凌家滩遗址背依太湖山，面临裕溪河，地理环境优美。从遥感照片看凌家滩遗址像一仰身睡卧的大佛，头枕太湖山，脚抵裕溪河。

凌家滩遺跡は安徽省馬鞍山市含山県銅閘鎮の凌家灘自然村にある。太湖山を背にして、裕溪河に面し、地理的環境に恵まれている。リモートセンシング画像を見ると、凌家灘遺跡は仰向けに寝ている大仏のようで、太湖山を枕にして、足は裕溪河に届いている。

太古の中国文明に差す夜明けの光——凌家灘遺跡

作者：徐紅霞 徐紅霞

张敬国 張敬国

翻译：山建国 山建国



供图：新华社 新華社

1985年凌家滩村民葬坟时发现了凌家滩遗址墓葬，遗址总面积约220万平方米，经碳14测定其年代距今约5300~6000年。其遗址上分布着墓地、祭坛、居住区、作坊、宫殿或神庙遗存，还分布有中国唯一的巨石阵（在上世纪七十年代被破坏）。

1998年凌家滩遗址被评为全国十大考古新发现，其中出土的玉双联璧是第24届冬奥会奖牌设计基本元素。

现主要介绍凌家滩出土玉器，以飨读者。

1985年、凌家滩の村人が墓を建てたとき、凌家滩遺跡の墳墓を発見した。遺跡の総面積は約220万平方メートルあり、炭素14年代測定法により約5300年から6000年前のものだとされる。遺跡には墓地、祭壇、居住区、作業場、宮殿あるいは神廟が分布し、さらには中国で唯一の巨石群遺跡も残されていた(ただし1970年代に破壊されてしまった)。

1998年、凌家滩遺跡は中国における考古学の十大発見と評され、そこから出土した玉の双聯璧は第24回北京冬季オリンピックのメダルデザインモチーフになった。

今回は凌家滩から出土した玉器を紹介するので、読者の皆さんにご覧いただきたい。



玉人——华夏民族的祖先 玉人——中国民族の祖先

凌家滩遗址共出土六件玉人，3件坐姿，3件站姿。玉人都是双臂弯曲紧贴胸前，作祈祷状，反映了凌家滩先人强烈的原始宗教意识。玉人的衣饰说明当时已有了纺织技术，人们已穿上衣裤、戴上帽子。玉人双耳耳孔表明佩戴耳饰，手臂上刻纹表示戴有手镯。玉人留有八字胡，说明当时已有剃须工具，表现出玉人的绅士风度和当时相当高的物质文明。

凌家滩玉人都呈长方形面孔，浓眉大眼，双眼皮，蒜头鼻，大嘴，身材比例匀称，面部表现出蒙古人种的明显特征，同现在的中国人一脉相承。这有力证明了五千多年来，中华大地上的人种一直未变，文化传承未变。世界上四大文明古国，其他三国都出现原有文明的中断和人种的变迁，唯有中国文明历史绵延数千年而不衰。

凌家灘遺跡からは合わせて6体の玉人が出土し、そのうちの3体は坐像で、3体は立像である。玉人はいずれも両腕を曲げて胸の前に密着させ、祈りの姿勢を取っている。これは凌家灘の先住民の原始宗教に対する強い信仰心を反映したものである。玉人の服飾から見ると、衣服と帽子を着用することは、彼らが当時すでに紡績技術を習得したことを証明し、両耳の穴は耳飾り、腕輪の様子はブレスレットを身に着けていたことを意味する。さらに、玉人は「八」の字の口髭があり、これは当時、ひげそりの道具がすでに存在していたことを示し、玉人の紳士的態度や当時の高度

な物質文明を物語っている。

凌家灘の玉人はおしなべて角張った顔で、眉毛が濃く、目が大きくて二重まぶた、獅子鼻で、口が大きく、プロポーションがいいのが特徴である。顔立ちはモンゴロイドの特徴を顕著に示し、その特徴は現在の中国人まで脈々と受け継がれている。これは中国の大地では5000年余りにわたって人種や文化の継承に変化がないということの有力な証拠である。世界四大文明の国の中で、中国以外の3つの国では既存の文明の断絶や、人種の変遷が生じており、中国文明の歴史だけが数千年の時を経ても衰えていないのである。



石钻——先进的玉器制作工具

石錐——先進的な玉器製作の工具

凌家灘遺址出土の石钻，是中国20世纪考古重大发现之一，其形状表明凌家灘先民对物理、数学、几何、机械力学知识的掌握已达到较高的程度，令国内外知名学者看到这件石钻时瞠目结舌，称他们到凌家灘简直是来朝圣的。没想到在那么遥远的年代，中华文明就已如此流光溢彩。

凌家灘遺跡から出土した石錐は、20世紀の中国の考古学における重要な発見の一つであり、その形状から凌家灘の先住民が持つ物理、数学、幾何、機械力学の知識がかなり高い水準に達していたことがわかる。この石錐を目の当たりにした国内外の著名な学者たちは目を丸くし、この地を訪れたことを「聖地巡礼である」と言った。学者たちは中国文明がこれほどまでに遠い昔にかくも光り輝いていたとは思ひもしなかったのである。



这几件出土玉器填补了中国考古学的空白，也印证了古代文献中有关龟、八卦和占卜的记载确有史实依据。这表明在远古时代，凌家滩遗址的居民已经熟练掌握和运用玉龟占卜的方法，以测吉凶，证明了古代文献中有关占卜学的记载是可信的史料。

出土したこれらの玉器は、中国の考古学の空白を埋め、古代の文献に出てくる亀、八卦(占いに使われる記号)、そして占いに関する記載に史実的な根拠があることを証明した。これは太古の時代に凌家灘遺跡の人々が玉亀占いの方法をすでに熟知して運用し、吉凶を推し量っていたことを示し、古代の文献における占い学の記載が信用に値する史料であることを証明した。

玉龟、玉版和原始八卦图

玉龟、玉版、原始八卦图

在07M23出土的200多件玉器中，我们还发现了三件组合的玉龟形器和玉签。在87M4曾出土玉龟、玉版。这些玉件器形基本相似，功能相同，均为占卜工具。

古人制作玉龟和玉签的工艺技术非常先进，达到比较完美的程度。

07M23号墓区から出土した200点を超える玉器の中で、3点を組み合わせた玉亀形の器物と玉くじが発見された。87M4号墓区でもかつて玉亀と玉版が出土しており、これらの玉器は形状が基本的に似ており、その機能も同じで、いずれも占いに用いる道具である。

昔の人々が製作した玉亀と玉くじの工芸技術は非常に先進的で、非の打ちどころのないレベルに達している。



砖的祖型

れんがの原型

发现最早和最大面积的红陶块建筑遗迹，质地坚硬，是中国砖的祖型。还发现一口用红陶块砌成井壁的水井，井口直径1米，深3.8米。

最も早く発見され、最大の面積を持つ赤い陶製の塊でできた建築遺跡は、材質が硬く、中国のれんがの原型である。また、赤い陶製の塊を積み上げて壁を作った井戸も発見され、その直径は1メートル、深さは3.8メートルある。



代表丰富精神世界的玉器

豊かな精神世界を代表する玉器

凌家滩遗址出土玉鹰，展开的翅膀上刻有猪的形象，因为鹰是百鸟之王，飞得最高，能与天上的太阳神接触，能代表神的意志和权力。其寓意可能表示人们用飞鹰把猪供献给太阳神，祈保安康幸福、五谷丰登。

凌家滩遗址出土的玉冠饰反映凌家滩文化镂孔技术已向成熟阶段发展。

凌家滩遗址出土的玉龙，令世人震撼。龙是中华文明的象征，龙文化源远流长。凌家滩玉龙首尾相接，两角耸起，脑门阴刻皱纹，显得庄重、威严，龙须、嘴、鳞等龙的要素齐备，其造型和神韵都一如今人之作。五千多年的漫长时空，在这件玉龙上如此神奇得叠合起来，真令人不可思议，这足以说明巢湖流域是龙文化的发源地之一。

凌家滩遗址出土的玉龙是人们所惊讶的。龙是中国文明的象征，龙的文化是悠久的历史。凌家滩的玉龙是头与尾连接在一起，两个角高高耸起，尾巴是尖的，尾巴上有着鳞片，重而有力，威严感，以及口、角、须等龙的特征都具备着，其造型和神韵是现代人作品所无法比拟的。5000年余的长时空在这件玉龙上神秘地重叠着，摩诃不思议，巢湖流域是龙的文化的发祥地之一，这足以说明巢湖流域是龙文化的发源地之一。



凌家滩遗址出土的玉鹰，是凌家滩文化的重要发现。鹰是百鸟之王，飞得最高，能与天上的太阳神接触，能代表神的意志和权力。其寓意可能表示人们用飞鹰把猪供献给太阳神，祈保安康幸福、五谷丰登。

凌家滩遗址出土的玉制的冠饰，是凌家滩文化的重要发现。透孔技术是凌家滩文化的重要特征，也是凌家滩文化成熟阶段的重要标志。



此外，凌家滩遗址出土了大批丰富多彩的玉璜，有的玉璜切割成两半，在两半的接合处各对钻一孔，有凹槽相连，在墓葬出土时有的只有一半，另一半可能在他方。其中虎首璜和龙凤璜最具考古价值，有的学者认为虎首璜不是一般的饰物，而是一种兵符，是调兵和结盟的信物。



また、凌家灘遺跡では多彩な玉璜が大量に出土していた。ある玉璜は2つに割れており、2つの接合部にはそれぞれに穴が1つ開けられ、溝が重なるようになっている。出土した時には、半分だけ墓にあり、残りの半分は別の場所にあった可能性のあるものもある。そのうち、虎首璜と龍鳳璜は考古学的価値が最も高く、学者の中には虎首璜は一般的な飾り物ではなく、兵符であり、兵権或いは部族間で軍事同盟を結ぶための証ではないかと考える人もいる。



玉猪是信仰图腾 玉豚は信仰の象徴

07M23出土的玉猪，重达88公斤，器形与1987年出土的玉猪十分相似。这是目前中国考古发现时代最早、最大、最重的玉雕猪形器。这件器物所用的玉料是自然形成的、标准的玉籽料，如此巨大就已经非常难得，5300多年前的凌家滩先民更是匠心独具，完成了如此巧夺天工的艺术杰作。

凌家滩遗址文化无论从哪方面论述都表明先民已脱离对自然和图腾崇拜的低级阶段，进入了高级阶段的文明社会，表现了文明古国文化的特

07M23号墓区から出土した玉豚は、重さが88キログラムあり、形状が1987年に出土したものと非常によく似ている。これは現時点で中国の考古学において発見した時代が最も早く、最も大きく、最も重い玉製の豚の形の彫刻である。この器物に使われている玉の材料は天然のもので、標準的な玉籽料であり、これほど巨大なもの是非常に珍しい。5300年余り前の凌家滩の先住民は独特の工夫を凝らし、このように精巧な芸術の傑作を生み出した。

凌家滩遗址的文化はどの方面から論じても、この地の先住民たちが自然とトーテム崇拜の低い段階を脱し、高い段階の文明社会に入っていたことを示し、古代文明国の文化的特徴を表現



征。凌家滩遗址是中国新石器时代晚期，出土的玉器玉质种类丰富，其工艺技术处于当时领先地位，突出精神文明的先进性，是中华五千年文明史的实证，为探索中华文明的起源提供了可靠的依据，具有极大的考古、艺术、历史、文化和科学技术等诸方面的价值，在中国和世界考古学中占据十分突出的地位。中国考古界、史学界专家学者认定，凌家滩遗址是中华史前文明源头，称其为“中华远古文明的曙光”。

している。凌家滩遺跡は中国の新石器時代末期のもので、出土した玉器の玉の質や種類が多彩で、その工芸技術は当時の先進的地位にあった。そして、際立った精神文明の先進性は、中国の5000年におよぶ文明史を実証するものであり、中国の文明の起源をたどる上で確かな根拠となった。さらに、考古学、芸術、歴史、文化、そして科学技術など各方面の価値が極めて高く、中国と世界の考古学において際立った地位を占めている。中国の考古学界、歴史学界の専門家は、凌家滩遺跡が中国の先史時代の文明の源流であると認定し、「太古の中国文明に差す夜明けの光」と称賛している。

作者简介：

徐红霞，安徽省文史研究馆特约研究员
张敬国，著名考古学家，发现和主持发掘凌家滩遗址的领队。安徽省文史研究馆馆员、安徽省文物考古研究所研究员、安徽省玉石文化研究会终身名誉会长、安徽大学兼职教授、上海交通大学兼职教授、中国社科院古代研究中心客座研究员。

作者紹介：

徐紅霞，安徽省文史研究館特別研究員
張敬國，著名な考古学者、凌家滩遺跡を発見し、発掘チームを指揮した。安徽省文史研究館館員、安徽省文物考古研究所研究員、安徽省玉石文化研究会終身名誉会長、安徽大学兼任教授、上海交通大学兼任教授、中国社会科学院古代研究センター客員研究員。

新安画派

新安画派



上海博物馆历代绘画展厅里有一排橱窗，常年陈列清代新安画派的作品。要了解中国绘画的发展史，新安画派是不能跳过的一个部分。

上海博物館の歴代絵画展示室には陳列棚が並び、清代の新安画派の作品が常時展示されている。中国の絵画の発展史を理解する上で、新安画派は欠くことのできない重要な部分である。

作者：施之昊 施之昊
翻译：三好雅彦 三好雅彦



画家群像——新安画派形成的人文支柱

画家の集団—新安画派が形成した人文の柱

画派の形成需要一批“志同道合”的画家，这是第一要素。他们有相对明确的艺术追求，新安画派推崇元代倪瓒、黄公望的山水画。其中渐江应能被视为那个时代的倪瓒，他追求倪瓒清新淡雅的风格，画面毫无半点俗气。众所周知，倪瓒是有洁癖的，我们在渐江的画上也能看到这种一尘不染的风格。

渐江(1610-1664)一生服膺倪瓒的笔墨，以实际行动“复刻”倪瓒的画风。作为清初四僧中最年长的一位，他的作品也有很浓的禅意，留出大量空白，却又没有空洞的感觉。渐江用笔的方折比起倪瓒有过之而无不及，笔下的这股拗劲也是每个观众能够感受到的。观众与其说喜爱他的画，不如说就是喜欢这股拗劲。同样作为山水画家，贺天健(1891-1977)对渐江的认识入木三分，他说“弘仁和尚(渐江)的画，是新安派中最为佼佼者。他笔如钢条，墨台海色，每每纵横交织地表现石的姿态和体积。但觉静穆、严在、朴实、恬洁，规行矩步，一点也不放失。”



安徽博物院藏 安徽博物院所藏

画派を形成するには「志を同じくする」画家が必要で、それが最も重要な要素である。彼らは明確に芸術を追求しており、新安画派は元代の倪瓒、黄公望の山水画を崇拝している。その中で漸江は彼の時代の倪瓒と見なされるべきであり、彼は倪瓒の清新で上品なスタイルを追求し、その絵には一点の俗っぽさもない。周知のように、倪瓒は潔癖で、漸江の絵にもみじも染まらないスタイルを見ることができる。

渐江(1610~1664年)は生涯にわたって倪瓒の筆墨(中国画の技法)に心酔し、実際の行動をもって倪瓒の画風を「復刻」した。清代初期の4人の僧の最年長者として、彼の作品には禅の意が色濃く表れ、大きな空

白を残しながらも、空疎な感覚がない。渐江の筆遣いは倪瓒に比しても勝るとも劣らないもので、かたくなで険しい筆遣いは作品を見る人がそれぞれに感じ取ることができる。観客は彼の絵に引かれるというより、その険しさに引かれるのである。同じ山水画家として、賀天健(1891~1977年)は渐江に対する認識が鋭く、「弘仁和尚(渐江)の絵は、新安画派の中で最も優れている。彼の筆は鋼のようで、すずりは海の色、それぞれが縦横に絡み合って石の姿と体積を表現している。それでいて荘厳なまでに静かで、厳粛、簡素、穏やか、生真面目で、欠けているものは何もない」と語っている。

新安画派另一位主要代表人物是查士标(1615-1697)，他的画受董其昌的影响很深，又能上溯元人，和董其昌一样得到前辈真传，画面的气韵格调与众不同，这就是艺术上所谓的“雅”。与渐江比起来，他的笔墨略多，但又能够在倪瓒、黄公望之间游刃有余，画面的墨色浓郁，正好与渐江的疏淡形成对比。但是其画浓郁中又显得清洁，和渐江疏淡又不单调一样，都是艺术家驾驭笔墨的高超能力。

新安画派を代表するもう一人の主要な人物に查士標(1615~1697年)がいる。彼の絵は董其昌の影響を強く受け、そのルーツは元代の人にさかのぼることができる。董其昌と同じように先達の極意を受け継ぎ、絵の趣と格調が他と一線を画し、それは芸術上のいわゆる「雅」である。漸江と比べると彼の筆墨はやや多いが、倪瓒、黄公望の間に割って入れる力があり、絵の墨の色が濃く、漸江の淡さと好対照を成している。しかし、その絵には濃厚さの中にはっきりとした清らかさがあり、漸江が淡くても単調でないのと同様に、芸術家が操る筆墨の卓越した能力を示している。



安徽博物院藏 安徽博物院所藏



自然环境——新安画派形成的先天条件

自然環境—新安画派形成の先天的条件



安徽博物院藏 安徽博物院所藏

如果说上面一个因素是“人杰”，那么这一条就是“地灵”。无法想象画家，尤其是山水画家的创作能够完全与周围的自然环境无关。中国古代绘画很早就形成了“外置造化，中得心源”的艺术路径，在不同时代，每个画派都有不同的表现方式。

新安画派就是古徽州地区沿着新安江聚集的画家群，除了有新安江还有黄山。提到新安画派不能不提黄山，所谓“五岳归来不看山，黄山归来不看岳”，黄山的魅力可想而知。对于一般人尚且如此，对山水画家的重要意义，再怎么说不夸张。

程嘉燧(1565-1644)的画有一些是写生册页，在不大的页面上写生，图像未必与黄山景色高度吻合，但笔墨中流露的却是和黄山精神高度契合的气韵。古人说“惟软笔而变化生焉”。中国书画使用的是软笔，这样才有变幻莫测的笔墨效果。“健”是形容毛笔弹性好，用来形容程嘉燧的画则十分贴切。他的画作笔墨既结实又不呆滞，画出了蓬松的感觉，这就是文人追求的轻松与闲适。

上記の要素が「傑物」だとするならば、次に述べるのは「土地の精霊」である。画家、とりわけ山水画家の創作は、周囲の自然環境と無関係であることは考えられない。中国の古代の絵画は早くから「外に自然があり、それが内なる心の源になる」という芸術の道筋があり、異なる時代に、それぞれの画派が異なる表現方法を持っていた。

新安画派は昔の徽州地区(現在の安徽省黄山市周辺)の新安江沿いに集った画家の一群で、新安江のほかに黄山もある。新安画派といえば黄山を挙げないわけにはいかない。いわゆる「五岳より帰り来たりて 山を見ることなし 黄山より帰り来たりて 岳を見ることなし」という言葉から、黄山の魅力をうかがい知ることができる。一般の人にとってもそうだが、山水画家にとって黄山が重要な意味を持つことは、いくら言っても言い過ぎることではない。

程嘉燧(1565~1644年)の絵にはいくつかの写生のページがあり、小さなページに描かれた写生で、その絵は黄山の風景と合致しているとは限らないが、筆墨には黄山の精神と高度に合致した趣が表れている。古人いわく「柔らかい筆によってのみ、変化が生まれる」。中国の書画は柔らかい筆を使い、それが变幻自在の筆墨の効果をもたらしている。「健」は毛筆の柔らかさを形容し、程嘉燧の絵を形容するのにふさわしい言葉である。彼の絵の筆墨はしっかりしていて滞ることがなく、ふんわりとした感覚を描き出している。それこそが、文人が追い求める軽やかさと伸びやかさである。



商业氛围——新安画派形成的“催化剂”

商業の雰囲気—新安画派形成の「活性剤」

经过明代资本主义在中国的发展，绘画已经脱离了纯粹的“艺术品”，其“商品”的属性越来越强。极端的例子就是扬州画派与海上画派的形成，经济因素在很大程度上左右了艺术的发展。晚明形成的新安画派，商业影响不及上面两个画派，但亦不容忽略。

新安画派的形成和发展离不开一个特殊的群体——“徽商”。徽商在当时富甲一方，他们以诚信精明、吃苦耐劳著称。他们在全国各地经商，同时还有扶助同乡的传统，形成了庞大的财富集团。在拥有了巨大财富和较高的

明代の資本主義の発展を経て、絵画は純粋な「芸術品」から離脱し、「商品」としての性格をますます強めた。極端な例は揚州画派と海上画派の形成で、経済は芸術の発展を大きく左右する要素となった。明代末期に形成された新安画派は、商業の影響こそ前述の2つの画派に及ばないものの、無視することはできない。

新安画派の形成と発展は、特殊な集団である「徽商」を抜きには語れない。徽商は当時の富裕層で、誠実なやり手として苦しみに耐えることで知られていた。彼らは全国各地で商売を営み、同時に同郷の人たちを助けるという伝統を持ち、極めて大きな富の集団を形成していた。巨大な富と高い経済的地位を築いたあと、彼らは当然の成り行きとして、文化的な品位と精神を充足させる

经济地位后，他们顺理成章地关注文化品位与精神消费。其中不少名商大贾特别重视文教事业。中国传统的绘画就这样成为他们关注的“艺术品”。

画家群体离不开商业环境，这一点在中国封建社会晚期表现得尤为突出。徽商在本地与外地从事经营活动的同时，不忘收藏书画，并以有无书画收藏定雅俗。这为新安画派画家的生存和发展提供了保证。徽商还会把自己收藏的宋元名画与画家们一起交流，后者也不断锐意进取，以自己的作品取得徽商的青睐。

消費行動に関心を持った。その中の多くの名だたる商人が、特に文化教育事業を重視した。中国の伝統的な絵画は、このようにして彼らに関心を寄せる「芸術品」になったのである。

画家の集団は商業の環境なしには語れない。その点は中国の封建社会の末期において特に際立っていた。徽商は地元と地方で経営の活動に従事する傍ら、書画の収集を忘れず、書画収集の有無によって風雅と卑俗を判定した。それが新安画派の画家の存続と発展を支えた。徽商は自らが収蔵している宋代や元代の名画を題材として画家たちと交流し、画家たちも絶えず懸命に努力し、自分の作品で徽商の支持を得た。





近代の中国画壇で新安画派の旗印を掲げた画家の中で、最も声望が高いのは黄賓虹を置いてほかにないだろう。黄賓虹(1865~1955年)と齐白石は「南の黄、北の齐」と称されている。2人はともに近代の中国の美術は西洋と距離を置くべきと主張する芸術家で、全力で中国画の伝統を継承しなければならず、西洋の影響を受ける必要はないとした。これは近代の中国画発展の主たる道筋の一つとなっている。

黄賓虹の中国画の理論と実践には、はっきりとした「新安」の烙印が押されている。黄賓虹の絵は「筆墨」で最もよく「民族性」を体現することができた。新安画派の画家を含む先達の筆墨の優れた部分を十分に練り上



余论——新安画派的影响

余論—新安画派の影響

近代中国画坛，举起新安画派大旗的画家中，最有声望的非黄宾虹莫属。黄宾虹(1865-1955)和齐白石有“南黄北齐”之称。两人都是主张近代中国美术要与西方拉开距离的艺术家，要全力继承中国画传统，不必受西方影响。这成为近代中国画发展的主要路径之一。

黄宾虹的中国画理论与实践有着明显的“新安”烙印。黄宾虹的画在“笔墨”上就最能体现“民族性”。在充分提炼、总结、概括新安画派画家在内的前辈笔墨精髓后，他提出了“五笔七墨”的重要画学理论。这个过程中他离不开黄山，离不开新安画派的滋养。

《黄山汤口图》是黄宾虹最为重要的作品之一。这么说，一方面是因为在2017年夏，这件作品以3.45亿的高价成交；另一方面也体现了他的黄山情结，他一生九上黄山，九十二岁的时候还以黄山为题材创作巨制。这件作品的画面墨色层层叠叠，浓处不膩，淡处不薄，这除了由于他在书法上的造诣外，也是深受新安画派影响的痕迹。

げ、まとめ、要点をつかんだあと、彼は「五筆七墨」の重要な画学の理論を発表した。その過程での彼は黄山なしには語れず、新安画派の滋養なしにも語れない。

『黄山湯口図』は黄賓虹の最も重要な作品の一つである。2017年夏、この作品は3億4500万元という高値で取引された。また、この作品は彼の黄山への複雑な思いも体現している。彼は生涯で9回、黄山に登り、92歳のとき黄山を題材として傑作を創作した。この作品は画面の墨色が幾重にも重なり合い、濃い部分はしつこくなく、淡い部分は薄くない。それは彼の書道への造詣を示しているだけでなく、新安画派の影響を強く受けた痕跡でもある。 

日常烟火： 安徽的民俗文化

活力に満ちた日常生活： 安徽の民俗文化

作者：萝卜丝 蘿蔔糸
翻译：山建国 山建国



民俗文化在中国丰富多彩，而且不同地域之间差异极大，早在《汉书》中就有“百里不同风，千里不同俗”的记载。要说一个省份之内，民俗习惯南北差异之大，恐怕莫过于安徽。

民俗文化は中国において多種多様である。また、地域差が極めて大きく、古くは『漢書』に「百里不同風、千里不同俗(各地域にはそれぞれの風習や習慣がある)」という記載がある。さらに1つの省の中でも民俗や習慣は南と北で大きな差があり、その点で安徽の右に出るものはないだろう。





安徽の民俗、最熱鬧的當屬“鳳陽花鼓”，也叫“打花鼓”，是集歌、舞、演奏、表演為一體的民間藝術，主要分布於鳳陽縣周邊一帶。其表演形式是由一人或二人自擊小鼓和小鑼伴奏，邊舞邊歌，如果二人的情況是一男一女，男敲小鑼，女打小花鼓，有時增加樂器伴奏。明代當地人多以此為出門乞討的手段，鳳陽花鼓借此傳遍大江南北。到清代康熙、乾隆年間，許多文人都記錄了鳳陽花鼓表演時載歌載舞的熱鬧場面。比較有名的曲目有《鳳陽歌》《鮮花調》《王三姐趕集》《秧歌調》等，被廣泛傳唱。

安徽の民俗で最もにぎわいがあるのは「鳳陽花鼓」であり、「打花鼓」とも呼ばれる。これは歌、踊り、演奏、演技を一体化した民間芸術で、主に鳳陽県(安徽省滁州市に属する県)の周辺一帯で親しまれている。その演技の形式は、1人または2人が小太鼓と小型のどらを伴奏し、踊りながら歌うもので、2人の場合は男性と女性がペアになって、男性がどらをたたき、女性が小太鼓を打ち、そこに楽器の伴奏が加わることもある。明の時代には現地の人がこれをこじき的手段にして出かけることが多く、鳳陽花鼓がそれによって長江の南北に広まった。その後、清の康熙、乾隆年間になると、多くの文人が鳳陽花鼓の歌あり踊りありの活気あふれる場面を記録に残した。有名な曲目には『鳳陽歌』『鮮花調』『王三姐趕集』『秧歌調』などがあり、広く伝唱されている。

淮北地区的“梆子戏”是艺术个性较强的安徽地方戏。淮北梆子演唱时用枣木梆子击节，唱词多带衬字，唱腔活泼婉转、激昂嘹亮，既能表达愉快舒畅的心情，也能表达慷慨壮烈的气氛，特别是黑、红脸唱腔，韵味独特，变化多端，在唱法上有着浓厚的地方色彩。其剧目大多以历史题材改编。比如，旦行戏的《妲己》、小生戏的《杨八郎》、丑行戏的《花子拾金》、红脸戏的《过五关》和黑脸戏的《王莽篡位》等，情节扣人，深受黄淮一带观众的青睐。

淮北地区(淮河の北のエリア)の「梆子戲」は芸術の個性が強い安徽の地方劇である。淮北梆子を演じる際にはナツメの木でできた拍子木のような打楽器で節を取り、節をつけて歌う部分には「襯字(メロディーに合わせるために添えられた字)」が多く、節回しは活発で抑揚があり滑らかで、気持ちが高ぶるような調子で響き渡る。そのため、愉快ですっきりした気持ちだけでなく、おおらかで壮烈な雰囲気も表現することができる。とりわけ紅臉(赤の隈取り、忠義に厚い男性役)と黒臉(黒の隈取り、剛直で一本気な男性役)による節回しは、独特な趣があって変化に富み、歌い方には地方色が濃厚に表れている。演目は歴史を題材にして脚色したものが多く、旦行戲の『妲己』、小生戲の『楊八郎』、丑行戲の『花子拾金』、紅臉戲の『過五関』、そして黒臉戲の『王莽篡位』などは、ストーリーが人を引き付け、黄河や淮河一帯の観客の好評を博している。





安苗节在安徽诸多农事习俗活动中最富有特色，一般在每年农历的六月初六。当地人家一般蒸发糕、做米粿、磨豆腐，邻里之间互相赠送品尝，附近村落的亲友也会赶来一起过节，同享口福。因而谚语有“种田种得哭，享个安苗福”的说法。当日清晨，人们在广场上设好祭坛，从大庙里请出黑脸太尉、红脸太尉登上祭台，祭台周围插满旗帜，除了日常的锦缎三角大旗外，还有用绵纸拼成的方形大旗，上面写着“风调雨顺”“国泰民安”“五谷丰登”等大字。有的村落还会请僧人做法事，更为隆重。等到下午太阳西斜，黑脸太尉和红脸太尉分别在椅子上由四人或八人抬着开始巡田。一路旌旗招展、锣鼓喧天，等巡完村子四周的田地后又回到庙前，这一天的活动才算是结束。

安苗節は安徽の多くの農作業に関する習慣行事の中で最も特徴的であり、一般的に毎年旧暦の6月6日に行われる。現地の家では蒸しパン、米粿(もち米の粉で作った軽食)、豆腐を作って、近所の人同士でそれらを贈り合って試食し、近くの村落の親戚や友人も駆けつけて祝日を祝い、ともに味わう。そのため、ことわざには「農作業は涙が出るほどつらいが、安苗節を楽しむことができる」という言い方がある。当日の早朝、人々は広場に祭壇を設けて、廟から黒臉の太尉と紅臉の太尉を舞台に運び出され、舞台の周りにはたくさんの旗が掲げられ、よく見かける三角形の錦の旗のみならず、錦紙をつなぎ合わせて長方形にした大きな旗もあり、そこには「風調雨順(天候に恵まれること)」「国泰民安(国家が安泰で人民の暮らしも平穏であること)」「五谷豊登(五穀豊穡)」などの文字が大きく書かれている。中には僧侶を呼んで法事を行うより厳かな村落もある。午後を待つ

て太陽が西に傾くと、黒臉の太尉と紅臉の太尉が椅子に上がり、4人あるいは8人がそれをついで、田畑を巡回し始める。道中では色とりどりの旗がはためき、どらや太鼓が天に届くほど鳴り響き、村の周囲にある田畑を回って廟に戻ると、1日の活動がようやく終了する。



在安徽民俗艺术中，“蛋雕”令人叹为观止。蛋雕是在各种禽鸟的蛋壳上进行雕刻加工的一种民间工艺。明清时期，安徽庐州一带的人们在节庆喜事时有赠送红鸡蛋的习俗，后来人们在蛋壳上画些花鸟、鱼虫、脸谱等图案以图吉利，慢慢又演变成将鸡蛋钻孔、掏空，在蛋壳表面雕刻精美图案的习俗。特别是当地人普遍养殖野鸡、孔雀、鸵鸟等，各种蛋壳为蛋雕制作提供了丰富的原材料，形成了独具特色的“庐州蛋雕”文化。通常仅用一枚蛋壳、一把单面剃须刀片、一支铅笔和一块橡皮，通过推、拉、刻、磨、刮等手法就能创作出巧夺天工的作品。蛋雕用料简单，题材广泛，包括人物肖像、花鸟鱼虫、京剧脸谱、诗文字画等，与现实生活紧紧呼应。

安徽の民俗芸術の中で、「卵彫刻」にはため息が出るような素晴らしさがある。卵彫刻はさまざまな鳥の卵の殻に彫刻加工を施す民間工芸の一種である。明と清の時代に、安徽の廬州(現在の合肥市)一带の人々には祝い事の際に赤い卵を贈る習慣があった。その後、卵の殻に花や鳥、魚や虫、隈取りなどの絵柄を施すことで福を呼び込むようになった。そこからさらに鳥の卵に穴を開け中を空洞にして、殻の表面に彫刻の美しい模様を施すという風俗習慣にゆっくりと変わっていった。地元の人々はキジ、クジャク、ダチョウなどの鳥を飼育しており、さまざまな卵の殻が、彫刻の豊富な原材料として提供されたことで、独自の特色を持つ「廬州の卵彫刻」文化が形成された。通常は卵の殻1個、1枚刃のかみそり1本、鉛筆1本、それに消しゴム1個を使って、卵の殻を押す、引く、刻む、磨く、そるなどの手法で、神技のような作品を作り出すことができる。卵彫刻は材料が簡単でありながら、題材が広く、人物の肖像、花鳥魚虫、京劇の隈取り、詩文や書画などを含み、それらは現実の生活と密接に関連している。



安徽民俗中还有“芜湖铁画”，被誉为中华一绝，是中国工艺美术百花园中的奇葩，盛行于清朝康熙年间，至今已有三百四十多年的历史。芜湖铁画源于国画，充分吸收了剪纸、雕刻、镶嵌等艺术文化，以熟铁为原料，经红炉加热后，经过出稿、剪、砸、烧打、上漆蜡、上框等工序和“打活”“钻活”等工艺制作而成，既有国画的神韵又具雕塑的立体美，是一种独具风格的艺术品。长期以来已经形成小景、画灯、屏风、盆景画、瓷板画等多个种类，在人民大会堂就陈列有《迎客松》《梅山水库》等大型铁画作品。

安徽の民俗には「蕪湖鉄画」もあり、中国でも唯一無二とたたえられている。これは数ある中国の工芸美術の中の傑作であり、清の康熙年間に盛んになり、これまでに340年余りの歴史がある。蕪湖鉄画は中国画に源を發し、切り紙、彫刻、象眼(1つの素材に別の素材をはめ込む工芸技法)などの芸術文化を十分に吸収している。鍊鉄を原料として、燃え盛る炉で熱した後、下絵を作成する、切る、たたく、鍛える、漆ろうを塗る、型にはめるなどの工程と「鍛鍊」「穴開け」などの工芸技法によって制作され、国画の趣だけでなく、彫刻の立体美も兼ね備え、独特の趣を持つ芸術品となっている。長い時間をかけて、小幅の山水画・風景画、飾り提灯、屏風、山水の景色を模した盆栽の絵、陶板画などの多くの種類が形作られ、北京の人民大会堂には『迎客松』『梅山水庫』などの大型の鉄画作品が陳列されている。



民俗文化には当然、食に関するものも少なくない。淮南牛肉スープは安徽文化において最も抜きん出た代表格の一つである。五代十国時代の言い伝えによると、趙匡胤が兵を率いた作戦の中で窮地に陥った場所がまさに淮河の南部エリアであった。その際、現地の農夫が自分の家の役牛を処分し、大きな鍋でスープを作って、兵營に提供した。スープを飲んだ将兵は大いに士気が高まり、一気呵成に寿春城を攻略したのである。その後、趙匡胤は皇帝に即位してからも、淮南牛肉スープの味が忘れられず、民間に「皇帝の急を救ったスープ」として伝わった。標準的な淮南牛肉スープは素材選びにこだわる。長江、淮河一帯の赤牛を原料として、牛骨を煮込んでスープを作り、牛肉を水に漬けて血や汚れを落とし、よく洗った内臓とともに煮込み、牛脂と乾燥させた赤唐辛子を合わせて赤い油を作る。淮南牛肉スープはスープが肝心で、スープが純粹でないと味が出ない。スープの作り方はさまざま、一般的には淮河一帯で取れるヤマモの粉、ゆば、豆団子といった現地の特産品を補助材料として用いる。こうして出来上がった牛肉スープは味がさっぱりとしていて、香り立つ辛さが口に合い、材料が豊富で一年を通して味わうことができる。



民俗文化自然少不了吃的，淮南牛肉湯是安徽文化最为出色的代表之一。据传五代十国年间，赵匡胤带兵作战被困在淮南地区，当地百姓把自家耕牛宰杀后，熬成大锅汤送进军营，官兵喝后士气大振，一鼓作气攻破寿春城。后来赵匡胤登基当了皇帝，始终不忘淮南牛肉汤，民间传为“救驾汤”。标准的淮南牛肉汤选料讲究，要选取江淮一带的黄牛为原料，用牛骨头熬汤，牛肉浸泡血污后和洗干净的内脏一起下锅煮，牛油和干红椒一起做成红油。淮南牛肉汤以汤为主，汤不醇则无味，熬汤的方法多样，一般都取用淮芋粉、豆腐皮、豆圆子等当地特产作为辅料。这样熬出来的牛肉汤味道醇鲜、香辣适口、原料丰富，一年四季皆可品味。

安徽的民俗还有很多，春节期间最为集中，要是正月里有时间去安徽各地走一走，就会被精彩纷呈的轩辕车会、跳竹马、跳钟馗、叠罗汉、雉山凤舞等数十种民俗活动吸引，也会惊讶于这些当地只道是寻常的艺术在外人眼里是多么的新奇！

安徽の民俗はほかにもたくさんあり、春節の時期に最も集中する。もし春節の期間に時間があれば、安徽の各地を歩いてみてほしい。そこで繰り広げられる軒轅車会(車を発明したとされる黄帝をたたえるイベント)、竹馬踊り、鍾馗(疫病神を追い払うとされる神)踊り、疊羅漢(人間ピラミッド)、雉山鳳舞(鳳凰を使った踊り)などの数十種類の民俗行事にくぎ付けになるだろう。そして、現地では普通の芸術であっても、他の地域の人の目には非常に斬新に見えることに驚くだろう。 孔

文房四宝

传 雅 韵

文房四宝が奏でる伝統の雅な調べ

“工欲善其事，必先利其器”，“文房四宝”对于中国古代文人来说，不仅仅是器具，还是一种陪伴，更是一种文化品位。

「工その事を善と欲すれば、必ず先ずその器を利するべし」とはよく言われることだが、「文房四宝」は中国の古代の文人にとって、ただ単に道具というだけではなく、いつも傍らによりそうパートナーともいうべき存在でもあり、さらには文化的品位の象徴でもある。



作者：孙婷 孫婷

翻译：桥本和子 橋本和子



“文房四宝”一词，最早出现在北宋诗人梅尧臣的作品中，他在《再和潘歙州纸砚》诗中说道：“文房四宝出二郡，迩来赏玩君与予。”

这种中国独有的书法、绘画工具，在不同的历史时期，有着不同的内容和说法。南唐时，文房四宝一般指的是安徽宣城诸葛笔、安徽徽州李廷圭墨、安徽徽州澄心堂纸、安徽徽州婺源龙尾砚；到了宋朝，文房四宝就特指宣笔、徽墨、宣纸、歙砚和宣砚，并一直延续至今。

安徽宣城，被誉为“中国文房四宝之城”，很多文人墨客曾在此流连忘返，饱览这“四宝”之城。泾县是中国宣纸之乡，泾县黄村镇是中国宣笔之乡，绩溪县是中国徽墨之乡，旌德县是中国宣砚之乡。安徽宣城集齐了“文房四宝”。

“文房四宝”という言葉が初めて出現したのは、北宋の詩人梅堯臣の作品の中である。彼は『再び潘歙州の紙硯に和す』という詩の中で、次のように書いている。「文房四宝二郡に出づ、爾来君と我鑑賞す」。

こういった中国独特の書道、絵画の道具については、歴史における各時期により、それぞれ内容や見解が異なる。南唐時代、文房四宝は一般的には安徽宣城の諸葛筆、安徽徽州の李廷圭墨、安徽徽州の澄心堂紙、安徽徽州の婺源龍尾硯を指していた。宋王朝になると、文房四宝は、もっぱら宣筆、徽墨、宣紙、歙硯及び宣硯のことを指すようになり、それは今日まで引き継がれている。

安徽省宣城市は「中国文房四宝の都」と称賛され、かつては数多くの文人墨客がこの地を訪れ、帰ることも忘れるほど心ゆくまでこの「四宝」の都を楽しんだ。涇県は中国宣紙の故郷、涇県黄村鎮は中国宣筆の故郷、績溪県は中国徽墨の故郷、旌徳県は中国宣硯の故郷である。安徽省宣城市には「文房四宝」のすべてがそろっている。



供图：樊鑫 樊鑫



供图：樊鑫 樊鑫



供图：高斌 高斌

相传，公元前223年，秦将蒙恬南下伐楚，途经宣城一带，以免毫制笔，当时被称为“蒙恬笔”。后来，“宛陵”改称为“宣州”，笔也称为“宣笔”。宣笔以选毫精良、制作精密而著称，刚柔适中、尖圆齐健，无论是书写还是画画，都是下笔传神。产于黄山地区的徽笔则以“尖、齐、圆、健”四德著称，能充分体现墨色焦、浓、重、淡、清的效果。

言い伝えによれば、紀元前223年、秦の將軍蒙恬が南下して楚に攻め込む際、途中宣城一帯を通過した。その際ウサギの毛で筆を作ったので、当時は「蒙恬筆」と呼ばれた。その後、「宛陵」が「宣州」と改められたため、筆も「宣筆」と呼ばれるようになった。宣筆は選毛の優良さ、精密な制作技術で名高い。剛柔が程よく適当で、尖(穂先が尖っていて、まとまりのあること)、円(穂がきれいな円錐状になっていること)、齊(穂先がきれいに整っていること)、健(穂に程よい弾力があり、しなやかであること)が揃っているので、書であろうが絵画であろうが、いずれも宣筆で書くと生き生きして、真に迫る勢いがある。黄山地区で産出される徽筆は、「尖、齊、円、健」という毛筆四徳をもって知られ、焦、濃、重、淡、清という墨色効果を十分に体现することができる。

书画离不开墨，而徽墨自古闻名。它的制作工序复杂，漆烟、松烟、减胶、加香等繁多的程序适应了不同的书写需求。在众多品牌中，“胡开文墨”质地上乘，油烟墨色泽光亮，松烟墨乌黑润和，所谓“落纸如漆，万载存真”。

書画にとって墨はなくてはならないものであり、徽墨は昔から有名である。徽墨の製作過程は複雑で、漆煙、松煙、減膠、加香などおびただしい数の工程を経ることで、書のさまざまなニーズに適応している。数多くあるブランド墨の中で、「胡開文墨」の品質は一流で、油煙墨は光沢があり、松煙墨は真っ黒でしっとりとしつややかである。いわゆる「落紙漆の如し、万載して真を存す」と言える。

宣纸生产是一个世代相传的工艺，选材、制浆、配料、制纸等全套工序犹如一套完整的礼仪，生产出来的宣纸质地绵韧、光洁如玉、墨韵万变。

宣紙の生産は代々継承されてきた伝統の工芸技術で、材料の選定、パルプ製造、原料の配合、製紙など、すべての工程はまるで一つの完璧な儀礼のようである。出来上がった宣紙の材質は強くしなやかで、玉の如く美しく光沢があり、墨の趣きは千変万化である。



供图：高斌 高斌

中国の製硯の歴史は長い。宣硯、歙硯は文人に大いに好まれ、「一硯を捨てるより、むしろ一室を捨てるほうを選ぶ」と言われるほどだ。そのうち、歙硯は古歙州で産出されることで有名になったが、龍尾山の硯石は紋様が最も多く、品質も一番いい。南唐時代、元宗李璟が詩文や墨、筆を好んだので、歙州の太守が龍尾硯を献上し、賞賛された。長期間にわたり、歙硯はその材質と効用が完全に合致し、さらに深く透徹した彫刻が加わり、詩、書、絵画、印などの芸術を集めて一体となし、歙硯それ自体が貴重な芸術品となったのである。歙硯は文化の伝達ツールであり、また文化の重要な担い手でもある。

文房四宝は、徽州文化の重要な担い手であるだけでなく、博大精深な中国文化の真髄、至宝でもある。人びとの書の習慣にいかに変化があろうとも、中国書画の愛好者にとって、筆、墨、紙、硯は心のよりどころである。文化的品位が具現化されたものであり、民族文化を伝承するものなのである。❶

我国制硯历史悠久。宣硯、歙硯深受文人喜爱，有“宁舍一室，不舍一硯”的说法。其中歙硯因产于古歙州而得名，龙尾山的硯石纹色最多、品质最好。南唐时，元宗李璟好诗文翰墨，歙州太守进献龙尾硯，获得赞赏。千百年来，歙硯材质与功用完美契合，加上精湛的雕琢，集诗、书、画、印等艺术于一体，歙硯本身成了珍贵的艺术品，是文化的传播工具，也是文化的重要载体。

文房四宝，不仅是徽州文化的重要载体，也是博大精深的中华文化的精髓和瑰宝。无论人们的书写习惯如何改变，对于中国书画爱好者来说，笔墨纸砚是一种精神的寄托，一种文化品位的体现，一种民族文化的传承。



供图：高斌 高斌





作者：项晨辰 項晨辰
翻译：谢秦 謝秦

中国先民通过观察太阳周年运动轨迹和天文物候的变化节律，将太阳周年划分为基本等长的二十四个时间段落，设立了中国人特有的时间知识体系——二十四节气。它不仅指导着古代中国的传统农业生产，如今更加深刻影响着数亿中国人的思维方式和生活节律。2016年，“二十四节气”入选联合国教科文组织非物质文化遗产名录。

这一期我们先来介绍一年里的前两个节气——立春和雨水。

古代の中国では、人々は太陽が動く軌跡や天文物候の変化を観察し、太陽年を二十四等分して、中国独特の季節感を作り上げた。これが二十四節気と呼ばれている。古代中国の農業を営むための重要な指標であり、現在に至っても中国人の思惟行動や生活スタイルに大きく影響している。2016年に二十四節気はユネスコの世界無形遺産として選定された。

今回は二十四節気の最初の二つの節気をご紹介します。立春と雨水である。

二十四節気之 立春和雨水

二十四節気の 立春と雨水





立春，“立”是开始的意思，“春”就是春天、春季，“立春”表示春天或春季的开始。每年2月4日前后，中国人迎来节气之首立春，春回大地，万物复苏，春耕就是这个时期最重要的事情了。

我们常说，“一年之计在于春”，指春天是一年的开始，对于全年的安排起着极为重要的作用。这句话也比喻凡事要早做安排，抓紧进行。在安徽池州的农村有句俚语“新春大于年”，立春这一天的早上是要放鞭炮迎春的。迎春放鞭炮很有仪式感。这个民俗延续至今，还在传承。除了燃放鞭炮迎春，过去还有一个略显神秘色彩的民俗——躲春。所谓“躲春”是指立春这一天不能出卧室门，不见生人。不是所有人都需要“躲春”，一般是去年运气差的人在立春这一天以“躲春”为宜。在新时代的今天，讲究这个的人很少了。除此之外，还有吃春饼、贴春字等习俗。

立春也被赋予万物复苏之意，是非常有生命力的节气。立春的专属花是迎春花。迎春花代表生命活力、坚韧顽强、青春活泼。因此，在这个时节出生的宝宝也被赋予更多的活力与自信。那么，在给立春出生的宝宝起名时，也会根据立春这天的特点，常用“春”字入名，让名字成为一种纪念性意义。例如：迎春(全国23.03万人)、建春(全国13.46万人)、德春(全国4.36万人)。

立春の「立」は始まるという意味で、「春」は春という季節である。「立春」は春の始まりを意味する。毎年2月4日前後、中国の人々は、節気の始めである立春を迎える。春は再び訪れてきて、万物は再び生き返ってくる。春耕はこの時期の最も重要な作業である。

春は一年の始まりであり、この年の計画を立てるのに重要な意味を持つ。「一年の計は春にあり」と言われるように、すべての事を早めに計画をたててから実行すべきだというのである。更に、安徽池州の村々には「新春は春節よりも大事」という俗語がある。人々は立春の日の朝、爆竹を鳴らして迎春の式を行う。この風習は古くから現代に引き継がれてきたものである。また、「躲春」という神秘的な風習も古くにあった。立春の日に顔を人に見られないように、寝室に閉じこもるというのである。「躲春」は特に旧年に運がよくなかった人がするもので、現代ではそれに拘る人が少ないのである。その他、春餅を食べるとか、春の字を玄関のドアに貼るとかの風習も見られる。

立春は万物蘇生の意味が賦与され、最も生命力のある節気だと言われる。立春の花は迎春花である。その花言葉は、生き生きとした生命力、頑丈で澁刺とした青春である。したがって、立春に生まれる子供は最も活力と自信に溢れた人だと期待され、名前に「春」の字が入るのがよくある。例えば、迎春の名を持つ人は全国で23.03万人もあり、建春は全国で13.46万人で、徳春は全国で4.36万人もいるという調査のデータが見られる。

京中正月七日立春

〔唐〕罗隐

一二三四五六七，
万木生芽是今日。
远天归雁拂云飞，
近水游鱼迸冰出。

译文：一天、二天、三天、四天、五天、六天、七天，万木开始发芽的日子就是今天了。远望天边的大雁在云间里飞去，近看水中的鱼破冰开冰面蹦出。

赏析：首句连用七个数字组成，表达了诗人仿佛在掰着手指头计数，传达了盼望立春之日到来的急切心情。接着，选写了春天三个代表性事物：万树发芽，鸿雁北归，游鱼腾跃，绘制了春天一派生机勃勃的景象。全诗景中寓情，赞美了春天的降临。

京中正月七日立春

唐 羅隱

一二三四五六七、
万木芽を生ずるは是今日。
遠天の帰雁雲を払って飛び、
近水の遊魚氷を迸して出ず。

訳文：一日、二日、三日、四日、五日、六日と七日、木々が芽を吹くのは今日である。遠い青空に雁が雲の間を飛び、近くの川に氷が融け、魚は飛び出そうとしている。

鑑賞：この詩の発句は一から七まで数字を挙げ、詩人が指を折り曲げて日を数えていることを想像させる。それは立春の到来を待ちわびている様子でもある。次に、春を象徴する三つの風物、木々の発芽、渡り鳥の雁の帰来、元気に泳ぐ魚の姿などを描写し、生き生きとした春を描き出したのである。この詩は風景の描写を通して、春の到来を賛美するものである。



雨水，是二十四节气中的第二个节气，表示降雨开始。每年的2月20日左右，气温回升、冰雪融化、降水增多，多以小雨或毛毛细雨为主。

俗话说，“春雨贵如油”，意思是说春天的细雨像油一样贵，形容春雨宝贵。雨水之后，适宜的降水对农作物的生长很重要，这是农耕文化对于节令的反映。有个成语叫作“雨后春笋”，形容新生事物发展迅速，它的本意就取自雨水时节的春笋大片发芽，快速生长。人们常说，新的一年，希望我们的事业像雨后春笋一样节节高！

全国各地在“雨水”这一天有着不同的习俗，四川都江堰地区，在这一天，出嫁了的女儿要带着丈夫回娘家，并送去一对竹椅，因为“椅”和“依”发音相近，送竹椅则代表父母老来有依靠，表达了晚辈对长辈的孝心。

雨水节气，中国北方地区尚未有春天气息，南方大多数地方则是春意盎然，一幅早春的景象。雨水的专属花是梅花，梅花代表坚强、高洁。正所谓“梅花香自苦寒来”，梅花的高洁品格深受文人的喜爱。

雨水は二十四節気の二番目にあり、降雨の始まりを意味する。毎年の2月20日前後、気温が徐々に上がり、雪や氷は融けはじめ、小雨が多く降り、雨量が増える。

「春雨は油より貴し」と言われるように、春の雨は貴重なものである。雨水の後、適宜な降水量は農作物の成長に非常に重要なものだという認識があったことは節気が農耕生活に大きな参考になっていることが分かる。また、「雨後の筍」という成語もある。春の筍は一雨後、成長が加速することから、「雨後の筍」は物事のハイスピードで成長と発展を遂げるという意味になったのである。新年において、我々の仕事は雨後の筍のように素晴らしい成長があるようにといったような祝福な言葉までである。

中国各地では、「雨水」の風習はそれぞれ異なっている。四川の都江堰では、嫁入りした娘はこの日に夫を伴って竹椅子を二つ持って実家に戻る。椅子の発音は「依」と同音で、老いた父母の頼りになる気持ちを表すもので、親孝行の一つの表れである。

雨水になっても、中国の北方地方ではまだ春の気配が少ないが、南方地方ではもうすっかりと春一色である。雨水の花は梅である。その花言葉は強靱と高潔である。「梅の香りは苦寒より出る」と言われるように、梅の高潔な品格が文人に親しまれている。

YUSHUI
二/十/四/节/气

雨水



初春小雨

[唐] 韩愈

天街小雨润如酥，
草色遥看近却无。
最是一年春好处，
绝胜烟柳满皇都。

译文：京城的街道上空细雨纷纷，雨丝滋润着小草钻出地面，远望草色好像连成了一片，近看时却稀疏零星。一年之中最美的时刻就是这早春的景色，它远胜过了绿柳满城的春末。

赏析：这首诗就“小雨”和“草色”描绘出早春的独特美景。给人一种早春时节湿润、舒适和清新的美感。

初春小雨

唐 韓愈

天街の小雨潤すこと酥の如し、
草色遥かに看るも近づけば却って無し。
最も是れ一年春の良き処、
絶勝る煙柳の皇都に満つるに。

訳文：都の街道に小雨が降る中、緑の草が生えてきたように見えた。遠くの方からみると、一面の緑となっているが、近づいてみるとまだまばらである。一年で最も良い時期はこの早春で、春末、緑の柳が町中に溢れている風景よりも勝るものだ。

鑑賞：この詩は「雨」と「草色」をキーワードに早春の独特な美景を描き出したものである。新鮮で美しい早春の瑞々しさをうまく表現できている。 ❷

兔年祝兔

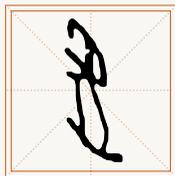
卯年にまつわるウサギの話



作者：黄蕾 黄蕾
翻译：韩宇 韩宇



tù



2023年是中国兔年。“兔”，读作(tù)，是一个象形字。从甲骨文的兔字中，我们依稀可见一个长耳朵、短尾巴，蹲坐在地上的可爱小兔的形象。还有一些汉字的造字，也和兔有关。比如“兔”，《说文解字·兔部》“兔不获于人，则谓之兔”，意思是兔子不被人捕获，就是“兔”。再如“冤”，兔子被罩住，失去了自由，就是蒙受了冤屈。又如“逸”，兔字加一个“走之”，兔子逃走，就有了逃逸、安逸、闲散的意思。

2023年は中国の卯年です。「兎」は象形文字の1つで、tùと発音します。甲骨文字の「兎」という字()から、長い耳と短い尻尾を持ち、地面にしゃがんで座る可愛い兎の姿が窺えます。また、ウサギに由来する漢字もたくさんあります。例えば、『説文解字』の兎部によると、「兔」という漢字は、ウサギが誰かに捕まっていない自由な状態を表しているという。一方の「冤」は、ウサギが網にかかって、自由を失い、不義理をすることを意味します。また、「兎」に「辵部」をつければ「逸」になり、ウサギが逃げる、転じて世間から隠れて、気楽に楽しむことを意味するのです。

在中国的成语中，与兔字有关的成语也有很多。比喻因为相同的遭遇而感到悲伤的“兔死狐悲”“兔死狗烹”；比喻两败俱伤的“犬兔俱毙”；形容人动静皆宜的“静如处女，动如脱兔”；比喻死守过往经验，不知变通，不求进取的“守株待兔”；形容某人有很多藏身之所，以便逃避灾难的“狡兔三窟”；比喻成功后就忘记了成功的条件的“得兔忘蹄”；比喻有名无实或者不可能出现的事物的“龟毛兔角”；比喻被逼到走投无路的程度会掉转头来回击的“急兔反噬”，以及类似的“兔子急了也要咬人”的俗语；形容认准有利可图才会采取行动的“不见兔子不撒鹰”；比喻虽然事情紧急，及时想办法也不算太晚的“见兔顾犬”等等。



中国の四字熟語にも、ウサギにちなんだものが多いです。「兔死狐悲(ウサギが死んで、キツネが悲しむ)」と「兔死狗烹(ウサギがいなくなれば、それを捕まえるための猟犬は必要なくなって、煮て食べられる)」は同類の不幸を嘆き悲しみ、「犬兔俱毙(犬兎の争い)」は第三者に利益を取られてしまわないよう忠告しています。「処女脱兎(始めは弱く見せかけて、後に素早く行動する)」は相手を油断させておくこと、「狡兎三窟(すばしこいウサギは三つの隠れ穴を持つ)は用心深く逃げ場を用意しておくこと、つまり戦略の大切さを教えてくれます。他にも、「守株待兎(棚ぼたを期待する)」は偶然の成功体験に縛られて、融通が効かず新たな行動ができなくなること、「得兎忘蹄(兎を捉えれば、畏のことを忘れる)」は目的を達すれば、それまでに役立ったものを忘れてしまうこと、「亀毛兔角(亀の甲羅に毛が生え、兎に角がある)」は実在するはずのないことのとたとえになります。さらに、俗語の「兔子急了也要咬人(兎も七日なぶれば噛みつく)」は、おとなしい人でもたびたび辱めを受けるといつか爆発するというたとえで、「急兎反噬」とほぼ同じ意味で使われます。また、「不见兔子不撒鷹(兎を見て鷹を放つ)」は物事を見極めてから対策を立てても遅くないことを表し、よく似た表現として「見兎顧犬(兎を見て犬を呼ぶ)」などがあります。

在中国人的日常生活中，兔可谓无处不在。作为十二生肖中排名第四的兔，它上承猛虎，下接蛟龙。龙虎之间，看似弱小的兔子却受到无数中国人的喜爱。兔年出生的人喜欢佩戴玉制或黄金制的兔子挂件，企盼吉祥如意。不论哪年出生的小朋友都喜欢戴兔儿帽，穿兔儿鞋，玩兔儿爷，拎兔子灯，吃大白兔奶糖，唱“小兔子乖乖，把门儿开开”的儿歌……在剪纸、泥塑、面塑、吹糖人等中国传统民俗中，兔子也是常见的造型之一。

在中国，兔子和月亮密不可分。当中国人遥望满月的时候，会想到嫦娥和在月桂树下捣药的玉兔。玉兔捣的是什么药呢？传说是长生不老药，因而兔子也和长寿联系在一起，杜甫《月》诗云“入河蟾不没，捣药兔长生”。意思是进入银河里蟾蜍也不隐没，捣药的玉兔长生不老。

中国人の日常生活の至る所に、ウサギが存在しています。十二支の順番で行くと、「虎」と「龍」の間に4番目の「兔」が入りますが、一見弱そうなウサギは実に大勢の中国人に愛されているのです。卯年生まれの人となれば、翡翠や金でできたウサギのペンダントをお守りとして身につけるのが普通です。どの年に生まれても、ウサギの帽子を被り、ウサギの靴を履く子どもたちはよく見かけます。泥人形の「兎兎爺」で遊んだり、ウサギ提灯を引っ張って走ったり、ウサギのミルクキャラメルを口にしたり、ウサギとオオカミの物語から誕生した童謡の「小兔子乖乖」を口ずさんだりすることは、誰でも経験したことがあるでしょう。ウサギは伝統工芸品の切り絵や粘土彫刻、麵彫刻、砂糖人形にもしばしば登場します。

中国では、ウサギと月は切っても切れない関係にあります。満月を眺める時、中国人はよく嫦娥と月桂樹の下で仙薬を搗く玉兔のことを思い浮かべます。玉兔が搗いているのは不老不死の薬とされているので、ウサギが長寿のシンボルとしても親しまれています。杜甫の詩『月』には、「河に入りて 蟾 没せず、薬を搗いて 兔 長生す」という一文が残されています。言い換えれば、「天の川の中へと月のひきかえるが入り込むが、そのなかに隠れられはしない。月の世界では兎が不老長寿の仙薬を搗いていて、いつまでも生きている」という意味になります。



设计者：李芳芳 李芳芳

1987年发行的兔年邮票

1987年に発行した「ウサギ切手」



设计者：黄永玉 黄永玉

今年的“兔票”

今年の「ウサギ切手」



供图：中国邮政 中国邮政

随着国际文化交流日益盛，越来越多的“洋兔子”涌入中国，丰富了中国兔文化的内涵。傲慢机智的美国“兔八哥”（Bugs Bunny）；少言寡语，聪明淘气的韩国流氓兔（MASHIMARO / 마시마로 엽기토끼）；机智勇敢的田园冒险大王英国比得兔（Peter Rabbit）；近几年风靡全球的电影《疯狂动物城》中的警官朱迪（Judy），更是展现了一个追逐梦想、拥有无限潜力和可能的兔子形象。

在不同的年份，中国邮政都会发行生肖邮票，兔年也不例外。1987年发行的兔年邮票是用民间剪纸的方式展现了兔子活泼可爱的形象。而今年的“兔票”，更是在中国引起了广泛的讨论。邮票的设计者黄永玉是中国乃至世界有影响力的美术大家，他设计的猴年邮票，单张市场价已经超过六千元。而引起更多争议的是“兔票”中兔子的外观和中国传统观念中的温柔可爱的形象相距甚远，一些人甚至用诡异来形容这只兔子。支持者认为，美本来就是多元的，这只蓝兔子看起来叛逆疯癫，极具个性。这是随着中外交往的加强，中国人审美更加多元化、对颠覆传统的形象更加包容的结果，也是中国文化兼容并蓄、“美美与共、天下大同”的一种体现。

亲爱的读者朋友，在你的国家，兔子又是怎样的形象呢？你喜欢2023年的邮票上这只蓝兔子吗？我们期待着在中国的兔年，听到世界各地关于兔的故事。

国際交流の増加に伴い、「外国生まれのウサギ」も続々中国にやってきて、中国のウサギ文化を豊かにしてくれました。生意気でウィットに富んだアメリカ生

まれの「バッグス・バニー」もあれば、口数が少なく、捻くれた韓国の「マシマロ」や、好奇心旺盛で運動量も多く、冒険好きで知られるイギリス発の「ピーターラビット」もあります。最近では、ディズニーの人気映画「ズートピア」に登場する警察官ジュディの夢に向かって奮闘する頑張り屋の姿が描かれています。

恒例行事の1つとして、中国邮政では年ごとに干支記念切手が発行されています。もちろん卯年の1987年も例外ではありませんでした。同年発行の切手では伝統工芸の切り絵を用いて、可愛いウサギが飛び跳ねる様子を表現しました。今年の「ウサギ切手」は中国国内で大きな話題を集めました。デザイナーである黄永玉氏は世界的にも影響力を持つアーティストで、かつて手がけた「申(サル)年」の記念切手の実勢価格は1枚6,000元以上とされています。最も注目されたのは、今回の「卯年」の記念切手に使われるウサギのイメージですが、「おとなしくて可愛い」という従来ものから大きくかけ離れていて、一部では「奇妙だ」と酷評されるほどでした。それに対し、賛成派からは「美とは本来多様性が込められているはずなので、今回の青いウサギは斬新奇抜で、非常に個性的に見える」との意見も出されています。確実に言えるのは、盛んに国際交流が行われてきたからこそ、より多様な美意識が生まれ、伝統を覆すイメージまで寛容に受け入れられたのです。それと同時に、「他の文化を尊重し、共有すれば、世の中は一つになる」という包摂的な中国文化の表れでもあるのです。

読者の皆さん、あなたの国ではウサギはどんなイメージですか。2023年発行の干支記念切手に描かれた青いウサギはお好きですか。中国の卯年に世界中からウサギにまつわる話をお待ちしております。どうぞお寄せください。孔



黄山： 人類の宝物

黄山， 人间瑰宝

作者：孙婷 孫婷

翻译：韩宇 韓宇

徽州，永远是中国文人的温柔乡，而天下第一奇山——黄山，则是游历徽州地区的核心景观，是目前中国唯一一家同时拥有世界文化与自然双遗产、世界地质公园、世界生物圈保护区三项桂冠的风光名胜区，与长江、长城、黄河同为中华壮丽山河和灿烂文化的杰出代表。

徽州は古くから中国の文人たちの心の拠り所であり、徽州観光の目玉と言えば、まず思いつくのは不思議な景観で世界的によく知られる黄山であろう。黄山は中国国内で唯一、ユネスコ「世界文化遺産」「世界自然遺産」にダブル指定されている観光地、なおかつ「世界ジオパーク」および「生物圏保護区」にも登録され、長江や万里の長城、黄河とともに、中国の広大な山河と華麗な文化の代表の一つでもある。

供图：高斌 高斌



供图：杜兆军 杜兆军



登黄山，天下无山 黄山を見ずして、山を見たと言う勿れ

明代旅行家徐霞客曾两次登临黄山，赞叹道：“薄海内外无如徽之黄山，登黄山天下无山，观止矣！”后人据此概括为“五岳归来不看山，黄山归来不看岳”。黄山的美，只有亲临的人才能懂得。

黄山有五绝：奇松、怪石、云海、温泉、冬雪。黄山松以石为母，峰石相连，妙不可言。主要有玉屏楼的迎客松和送客松、始信峰的龙爪松、鲫鱼背旁的探海松，以及传说与唐明皇、杨贵妃有关的连理松等。其中，迎客松闻名天下，象征着友谊、包容和开放，是黄山松的代表。

形态各异的黄山怪石，因观看角度的不同而出现不同的景象，“横看成岭侧成峰，远近高低各不同”。其

中最具代表的属西海景区的飞来石，自然风化而来的奇石，像是上苍遗落在人间的瑰宝。

在黄山遇见云海，需要一些运气。峰、石、松在云海时隐时现，宛如海市蜃楼。幻境中几分真实、几分虚幻？云上的时间是否流动得比人间要稍慢一些？

黄山温泉可浴、可饮、可医。温泉的泉眼位于紫石峰南麓、桃花溪北岸，泉水是亚洲珍稀的朱砂泉，水温保持在42.3℃，与骊山的华清池、安宁的碧玉泉并称为中国“温泉三奇”。因具有医疗价值，黄山温泉也被称为“灵泉”。泡温泉时，游客可俯瞰峡谷，可抬头见山，或置身冬雪之中，宛若仙境，不知人间几何。

明の時代の旅行家である徐霞客は黄山を二度訪れ、「黄山に登らずして、山を語ること勿れ」と称賛の言葉を残した。それがのち「五岳より帰り来たりて 山を見ることなし、黄山より帰り来たりて 岳を見ることなし」という表現で、より一般的に知られるようになった。黄山の美しさは、自分の足で登った人にしか分からないものなのだ。

黄山独自の景観を形作っている「5つの絶景」とは、奇松、怪石、雲海、温泉に加え、雪と樹氷のことである。

まず、黄山の松は、「石のない峰はなく、松のない石はなく、奇妙でない松はない」と言われるほど、岩の割れ目に根を張り、強い生命力を持つものとして尊ばれている。玉屏峰に生える迎客松や送客松、始信峰の竜爪松、鮑背近辺にある探海松、さらに唐明皇と楊貴妃の物語にちなんだ連理松、いずれも十大名松に名を連ねるほどのものであるが、黄山の松のシンボルとして一番親しまれているのは、やはり友情、寛容、開放を象徴する迎客松であろう。

一方、「横に看れば嶺と成り 側には峯と成る、遠近高低各々 同じからず」という漢詩の如

く、異なった形をする黄山の怪石もまた、見る角度によってそれぞれ違う姿に見えてくる。そのうち、最も有名なのは西海風景区にある飛來石であり、自然に風化したにもかかわらず、神が残してくれた宝物のような存在である。

黄山で雲海に出会うには、運が必要かもしれない。峰、岩、松は雲海の中に見え隠れしていて、まるで蜃気楼のようである。雲の上では、人間の世界より少し時間がゆっくり流れているのかな、と聞きたくなるくらい、幻想的な世界を彷彿させる。

また、黄山温泉は、入浴、飲用、治療のどちらにも使用できる。その湯口は紫石峰の南麓、桃花溪の北岸に位置する。アジアでは稀に見ない朱砂泉であり、湯温は年間を通じて42.3℃に保たれている。驪山の華清池、安寧の碧玉泉とともに、中国の「三大名泉」の一つに数えられ、その医学的価値から「靈泉」と呼ばれることも多い。黄山温泉に浸かると、溪谷を見下ろしたり、山々を見上げたりして、存分に自然を楽しめることができる。冬ともなれば、風に舞う雪の中に身を委ね、おとぎの国を巡るような気分が味わえる。



供图：陆开蒂 陸開蒂





黄山四季皆胜景，而冬雪最销魂。每到严冬，皑皑白雪，遍铺峰峦。“一夜寒风起，万树银花开”，到处是银妆素裹，玉砌冰雕。明人潘旦游后曾赞叹：“玉柱撑天，琼花满树，恍入冰壶……”

黄山山境南北长约40千米，东西宽约30千米，总面积约1200平方千米，游览黄山主要是从汤口镇进入，景点大部分在山顶，有前山和后山之分，前山雄伟，天都峰、莲花峰和光明顶三大雄峰矗立，后山秀美，狮子峰、始信峰等奇峰突兀。其中莲花峰为安徽最高峰，海拔1860米，峰峦峻峭，劈地摩天，重岩叠嶂，宏博富丽。

黄山には四季折々の美しさがあるが、一番よく似合うのは何と言っても雪だろう。「寒風 吹きすさげば、何千もの木々 瑠璃色に」という言葉の通り、毎年冬になると、黄山は一面雪に覆われ、樹氷が水晶のように透き通って輝く。明の時代を生きた潘旦は、黄山の冬景色を堪能した後、次のように称えたという。「天に突き刺す柱に、山裾を埋め尽くす樹氷。雪と氷の世界は、もはや浮世にあらず」

黄山の裾野の広さは、南北に約40キロ、東西に約30キロで、面積はおよそ1200平方キロメートルとなっている。黄山を訪れる観光客の多くは湯口镇から入り、観光スポットが集まる頂上を目指す。黄山はさらに「表山」と「裏山」に分けられ、表山には雄大な山々が広がり、「三大主峰」とも呼ばれる天都峰、蓮花峰と光明頂が聳え立つ。高さ1,860メートルを誇る蓮花峰は安徽省内の最高峰で、周りの峰に囲まれながら、険しく突き出ている。それに対し、反対側の裏山には、奇松、怪石が林立する獅子峰や始信峰など、特徴的な風景が多い。



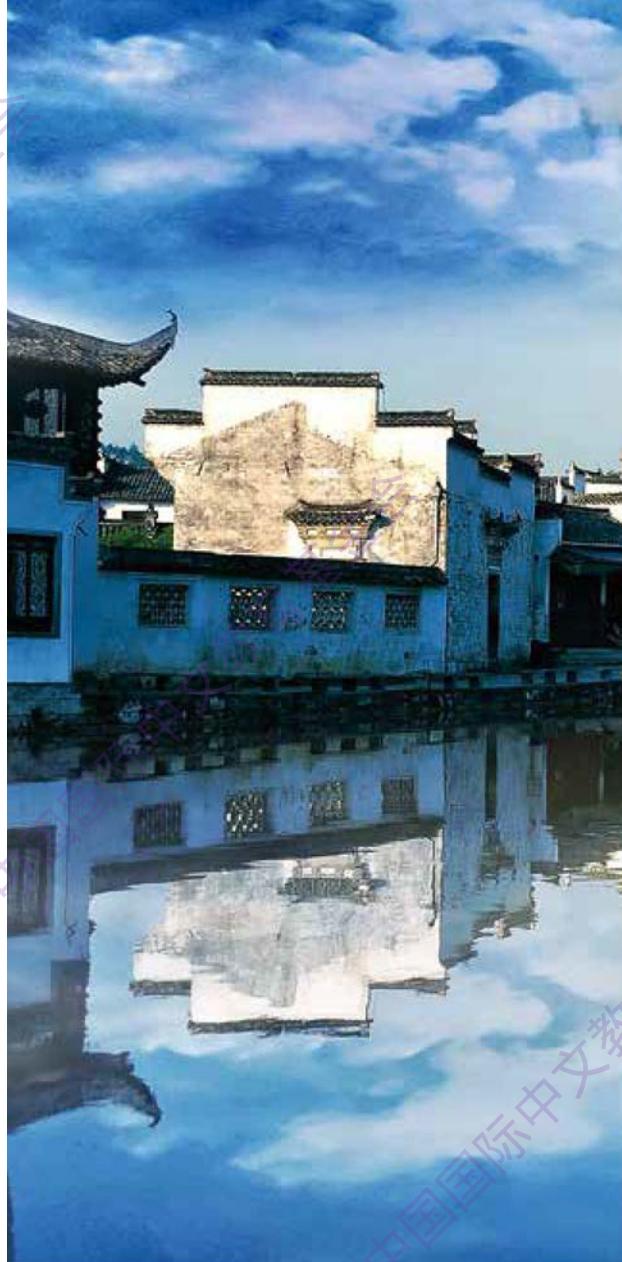
供图：胡磊 胡磊



览徽州，胸有水墨 徽州を目にすれば、 創作の題材が生まれる

“八山一水一分田”。来到山下，也是山丘屏列，岭谷交错，有深山、山谷，也有盆地、平原，波流清沏，溪水迴环，到处清荣峻茂，水秀山灵。古往今来，许多文人墨客在此留下墨宝。李白写下“我宿黄山碧溪月，听之却罢松间琴”。游览徽州，心中被水墨浸染。

山上有风景，山下是文化。置身于徽州，看被雨水冲刷数百年的马头墙，你突然理解了浙江的山水画；“前世不修生在徽州，十三四岁往外一丢”，听古徽州的故事，你才了解那些牌坊为何要建造得如此整齐而自带威严之感；走在渔梁镇的石板街上，你可以想象当时这里作为古徽州人出外经商的水上要道。尝一尝徽州的美食，走一走徽杭古道，你会了解到，臭鳊鱼在过去是在路途颠簸数月的徽州人的干粮，墨子酥是岁末时家家户户祈福的糕点……





供图：高斌 高斌

「山が8割、さらに川沿いと平地が1割ずつ」と言われるように、黄山の麓には丘と谷が入り組み、静かに流れる川もあれば、盆地や平野もあるといったところである。「風光明媚な地」という名声に憧れて、歴代の文人たちがここを訪れ、時代を超える数々の名作を生み出している。例えば、李白の「我は宿す黄山 碧溪の月、之を聴いて却って罷む 松間の琴や」では、水墨山水画のままの徽州の姿が取り上げられている。

もちろん山に景観があれば、麓に文化がある。徽州に身を置くと、数百年にわたり、雨にも負けず立派な仕事をしたくれた馬の頭の形をした山牆を見かけ、漸江の山水画のことをふと思い出す。「前世でしっかり努力しなかったせいで、徽

州に生まれ変わることに。そこで13、14にもなると、行商に行かねばならない」という俗語があるが、当時の厳しかった庶民生活を知らなければ、徽州の牌坊がなぜこんなに綺麗にまた凛々しく造られているのかも理解できないし、漁梁鎮の石畳の上を歩かない限り、当時の行商人が新安江から出発し、各地で商いを行っていた姿も想像しにくいだろう。そして、徽州のグルメを口にし、杭州行きの古道を利用してはじめて、片道だけで何ヶ月かかってしまう新安商人がいかに癖の強い「臭鰻魚」を食糧として大事にしていたことも、年末年始になればどこの家も来年の幸せを祈るべく、墨酥餠を用意していたことも、ようやく受け止められるようになるのである。



在整个黄山市，共有2处世界文化遗产(黄山、宏村)、8处5A级景区、49处国家文物保护单位、24处国家级非物质文化遗产、26个国家历史文化名城名街名镇名村，以及271个中国传统村落。来黄山旅游，还可游览这些周边景区：新安江山画廊、翡翠谷、呈坎、宏村、西递、塔川、黎阳in巷、屯溪老街等，一边是旧时的古朴，一边是现代的繁华，那流经新安江的江水，经年累月于天地间循环往复，既是宏村月沼里的映照明月塘水，也是慰藉了天下徽州人那一杯太平猴魁的茶汤。

今の黄山市には、黄山のほかにもう一つの世界文化遺産「宏村」がある。なお、中国最高ランクの5A観光地に指定される観光地が8ヶ所、中国全国重点文物保護單位が49ヶ所、中国国家無形文化遺産が24件、中国歴史文化名城名街名鎮名村が26ヶ所、中国古村落が271ヶ所と、多数の文化遺産・文化資源を有している。旅行に訪れる際は、新安江山画廊、翡翠谷、呈坎、宏村、西遞村、塔川、黎陽in巷、屯溪老街といった黄山周辺の観光地にもぜひ足を伸ばしてみてください。黄山市内を流れる新安江が何千年間この町のことを見守ってきた。時には宏村にある観光名所の月沼で名月が映る池の水となり、時には新安商人にこよなく愛される太平猴魁茶となる、今、その両岸には、いにしへの素朴さを残しながら、近代化が図られているのである。 孔



中国国际中文教育基金会



供图：周冰 周水

教育基金会

安徽的底色：

跨越南北的文化

安徽の地色：
南北に跨る文化



中国国际中文教育基金会

中国国际中文教育基金会

中国国际中文教育基金会

作者：陌上尘 陌上塵
翻译：谢秦 謝秦

安徽建省的历史，要上溯到清朝康熙六年(公元1667年)，朝廷将当时广阔而富庶的江南省一分为二，一个取江宁、苏州两府首字名为“江苏”，另一个取安庆、徽州两府首字名为“安徽”。自此以后，安徽作为具有清晰行政边界的区域出现在历史舞台上。由于安徽历史上存在古皖国和境内的皖山、皖河而简称“皖”，也有八皖、新安、吴头楚尾、江淮之滨等别称。

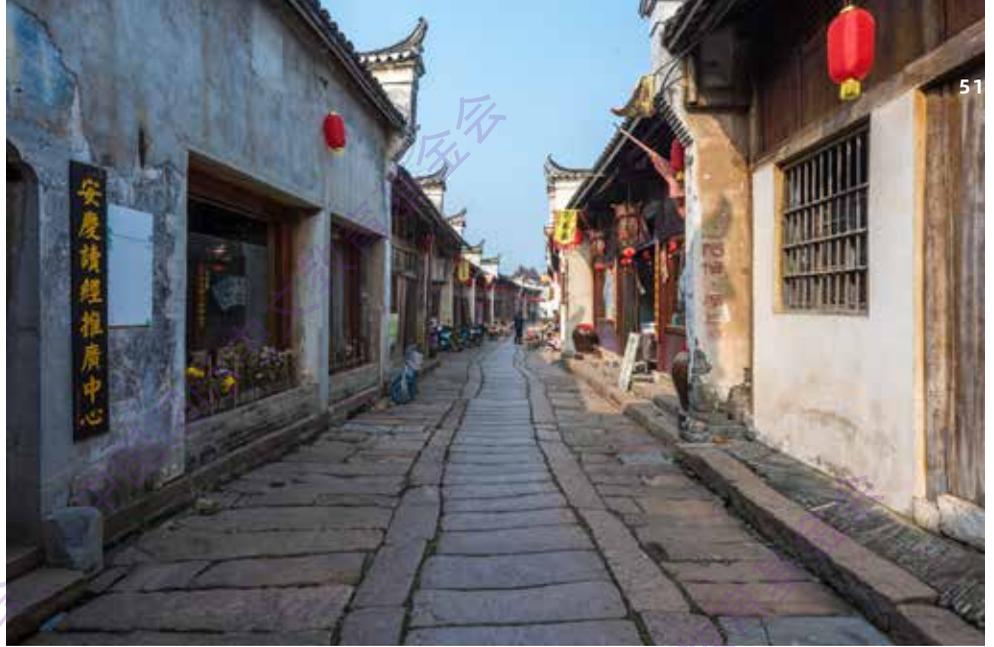
安徽が省になる歴史は、中国清の康熙六年(1667年)に遡ることができる。清の朝廷は、土地が広く経済も発達する江南省を二つに分割し、一つは、江寧と蘇州の両府からそれぞれ一文字を取り「江蘇」と名付けた。もう一つは、安慶と徽州の両府からそれぞれ一文字を取り、「安徽」と名付けた。以来、安徽は歴然とした行政区画として歴史舞台に登場した。かつて「古皖国」があったり、「皖山」「皖河」などの地名もあったことから、安徽は「皖」と略称されるほか、八皖、新安、呉頭楚尾、江淮之濱などの別称も持っている。

从地理上看，安徽境内有淮河、长江和新安江，造成天然的地域分隔，长期以来在南北文化交汇融合过程中形成了具有个性的徽文化、皖江文化、庐州文化和淮河文化，共同构成安徽文化的底色。

安徽には、淮河、長江と新安江など三つの川があり、地理上の天然分界線となっているほか、南北文化の融合するところに、個性ある徽文化、皖江文化、廬州文化、淮河文化が徐々に成り立ち、ともに安徽文化の地色となった。

明代戏曲家汤显祖曾说“一生痴绝处，无梦到徽州”，就是徽文化的魅力。徽文化是以徽州文化为主体的具有“徽风皖韵”的各种文化现象的集合，也是中国地方传统文化的重要标本，其相关研究与敦煌文化、西藏文化并列为中国三大地方学之一。我们平常说徽文化，主要指三个方面：一是以徽州古城为代表的徽派建筑文化。比如“四水归堂”的徽派住宅布局，





一般在中轴线上建造住宅的大门，迎面的正房为大厅，后面院内为二层楼房。由四合房围成的小院子通称天井，用来采光和排水。下雨的时候，屋顶内侧坡的雨水从四面流入天井，故称“四水归堂”。二是从新安江走出的徽商及徽商文化。明朝万历年间的《休宁县志》就有徽商“藉怀轻货遍游都会”的记录。徽商是明清十大商帮之一，其文化以“儒商文化”“贾而好儒”“诚信不欺”为核心，延续至今。三是对中国文化思想的贡献。徽州地区先后出现过以朱熹为核心的“新安理学”和以戴震为集大成者的“朴学”，近代以来还有胡适等思想家从这里走出去，为中国学术思想史的繁荣贡献了力量。徽文化还包括新安画派、徽派版画、徽派篆刻、徽州方言等等。特别是黄梅戏，是徽州古老戏曲的代表，其表演优美欢快、真实活泼，最能展现徽文化的韵味。

明代的戏曲家汤显祖是，“一生痴绝处，无梦到徽州”与语っており、徽文化の魅力を唱えた。徽文化は徽州文化を主体とし、「徽風皖韻」と言われる各種文化の集合体であり、中国の地方伝統文化の重要な標本でもある。徽文化は、敦煌文化、チベット文化と並び、中国三大地方文化の一つである。一般概念でいう徽文化は、主に三つの面から語られるのである。一

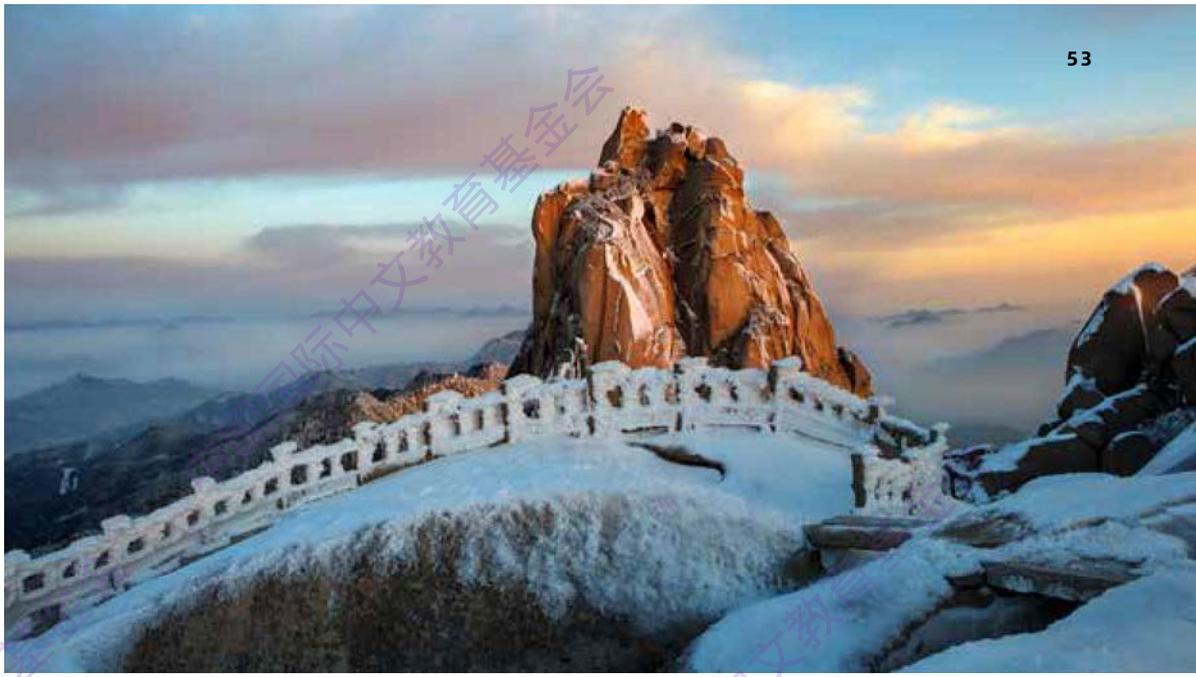
つは、徽州古城を代表とする徽派建築文化である。「四水歸堂」と言われる徽派建築は、玄関口を中軸線に設け、表の部屋はホールとなり、裏の庭に二階建ての建物がたつという内部配置となっている。庭は四合院の形となり、「天井」とも呼ばれ、採光と排水を考慮した工夫である。雨の時、雨水は屋根に沿って四方から天井に流れ込むため、「四水歸堂」と称したのである。二つ目は、新安江に生まれた徽商と徽商文化である。明代萬曆年の『休寧県誌』に徽商の「藉懷輕貨遍遊都會」という記録が見られる。徽商は明清の十大商人団体の一つであり、「儒商文化」「賈而好儒」「誠信不欺」などを文化の核心として、今日に至るのである。三つ目は中国文化思想における価値である。徽州地域は著名学者が輩出する地である。朱熹を中心人物とする「新安理学」、戴震を集大成者とする「朴学」などがあるほか、近現代には胡適のような思想家も数えられている。徽文化は中国学術思想史の繁栄に大きな力を貢献したと言える。その他、徽文化について、新安画派、徽派版画、徽派篆刻、徽派方言が挙げられるほか、黄梅劇は徽州の古戯曲の代表として、優美明快的な演出を通して、徽文化の趣を表現するものである。



安徽安庆地区的历史文化一般统称为“皖江文化”。在中国文学史上影响极大的清代桐城派就是皖江文化的一部分。桐城派作为流传最大的散文派别，自康熙年间到清朝末年前后绵延二百余年，期间诞生了戴名世、方苞、刘大櫆、姚鼐等诸多名家，作品之丰富、影响之深远，享誉文坛。清朝乾隆年间人们就有“天下文章其在桐城乎！”的赞誉。以潜山为中心的皖江文化，在书画艺术、禅宗文化等方面也有很高的成就。比如，北宋时期，皖江地区的著名画家李公麟被誉为“宋画第一”。还有皖江地区的九华山、司空山、天柱山、浮山等都是佛教、禅宗文化传播的重镇。

安徽の安慶地域に発祥する歴史文化は「皖江文化」と呼ばれている。中国文学史に多大な影響力を持つ清代桐城派は「皖江文化」に属するものである。桐城派は最も広く伝承される、随筆で知られる流派として、清の康熙年から清末頃に至るまで約二百年も影響力を持ち続け、戴名世、方苞、劉大櫆、姚鼐など大家を輩出し、数多くの名作品を残し、文壇に大いに誉め称えられていた。清の乾隆年間になると、「天下文章其在桐城乎」と言い伝えられるようになった。潜山を中心とした皖江文化は、絵画芸術、禅宗文化の面においても業績を挙げた。例えば、北宋時代、皖江出身の著名な画家李公麟は「宋画第一」と称された。その他、皖江にある九華山、司空山、天柱山、浮山などは仏教及び禅宗文化伝播の重鎮的存在である。





庐州就是现在的合肥地区，是合肥别称。以庐州为代表的“庐州文化”在中国历史上产生了极其深远的影响。作为千年古城，庐州具有浓郁的地域风情和历史文化底蕴，不仅走出了包拯、李鸿章、刘铭传等历史名人，还产生了火笔画、吴山铁字、葫芦烙画、羽毛画、庐州木雕等令人惊叹的艺术成就，蕴育出了庐剧等优秀戏曲。比如，享誉全国的葫芦烙画，创作的时候重在火候和力度的把握，讲究“意在笔先、落笔成形”。画家用烙铁在物体上烫出烙痕作画，与葫芦融为一体，层次丰富、立体感强，能永久保存。当然，还少不了吴山贡鹅、包公鱼、三河米饺等庐州风味美食，这些历经千年的庐州文化瑰宝，任时光流转变迁，依然熠熠生辉。

廬州は現在の合肥あたりで、合肥の別称でもある。「廬州文化」も中国の歴史に深遠なる影響を与えた。千年の古都として、廬州は特徴ある風土と歴史文化の趣を有している。包拯、李鴻章、劉銘伝などの歴史人物のほか、火筆画、呉山鉄字、葫芦烙画、羽毛画、廬州木彫、廬戯などのような輝かしい芸術も生まれた。例えば、全国にも名高い葫芦烙画は、烙鉄で葫芦(瓢箪)の表面を焼きながら絵を描くものである。匠は「意在筆先、落筆成形」を目指し、烙鉄の温度と手の力加減を微妙に調節しながら絵を創作していく。烙印を瓢箪と一体化させながら出来上がった絵は立体感が強く、奥深くもあり、永久保存の効く作品となっている。また、グルメというと、まず呉山貢鵝、包公魚、三河米餃など廬州風味の美食が挙げられる。これらのように、千年にわたる廬州文化は時代の移り変わりとともに変化しつつも、依然として魅力にあふれたものである。



作为中国东部板块上的南北分界线，淮河两边大为不同，淮河以南是稻作文明，淮河以北是旱作文明，《晏子春秋》中有“橘生淮南则为橘，生于淮北则为枳”的说法。这也使淮河流域成为南北文化的交融点，形成了璀璨夺目的淮河文化。在中国文化史上，淮河流域是中华文明发祥地之一，老庄哲学和孔孟哲学都产生于淮河流域，对古代中国社会发展、政治模式和人文精神都产生了深远影响。还有以曹操父子为代表的建安文学，以华佗为代表的医药学，以嵇康和刘伶等竹林七贤为代表的魏晋玄学，都在这里生根发芽，成为中国文化的重要组成部分。从地理上看，淮河流域历来是兵家必争之战略要地，历史上分裂时期的南北对峙，基本上都是以淮河为界。比如，三国魏与蜀吴，东晋与前秦等。我们耳熟能详的垓下之战、淝水之战，以及解放战争中的淮海战役，都在此区域展开，影响了中国历史发展的进程。



淮河は中国の東部に位置し、地理上では中国南北地域の分界線となっている。淮河より南のほうは稲作が発達し、北のほうは白田文化が主流である。『晏子春秋』に「橘生淮南則為橘、生于淮北則為枳」とあるように、淮河流域は中国南北文化の融合地点となり、次第に輝かしい淮河文化を作り上げたのである。中国文化史の視点から言うと、淮河流域は中華文明発祥地の一つでもあり、老荘思想と孔孟哲学が生まれる地でもあるように、古代中国の社会発展、政治構造及び人文思想に多大な影響を与えた。その他、曹操父子を代表とする建安文学、華佗を代表とする医薬学、嵇康や劉伶など竹林七賢を代表とする魏晋玄学など、多くの学問はこの地に芽生え、中国文化の重要な部分となったのである。地理の視点から言うと、淮河流域は歴代兵家が争う要塞である。中国歴史における南北対立は殆ど淮河を境界線としていた。例えば、三国時代の魏と蜀吳、東晋と前秦などがそれである。広く知られる「垓下の戦い」「淝水の戦い」、そして中国解放戦争の「淮海戦役」など、皆この地にあったもので、中国歴史の発展に影響を与えた。



在漫长的历史长河中，安徽受益于得天独厚的地理位置和人文环境，不仅南北文化在这里碰撞演变，东西文明也在这里汇聚交流，塑造了绚丽多彩的安徽文化。在中国历史文化发展的长河中，安徽文化更是从未间断，始终与中国历史进程同步发展，在不同时期形成了一个又一个文化高峰。要是有时间行走在江淮大地这块古老而又神奇的土地上，一定要走入村落，在日常生活中、在民俗活动中深切感受厚重且丰韵灵秀的安徽文化。

このように、長い歴史の流れにおいて、安徽は立地条件と人文環境に恵まれており、南北文化の融合や東西文化の交流の重要地域として立派な安徽文化を生み出したのである。時代が常に変化する中、安徽文化は停滞することもなく、中国の歴史と共に大いなる発展を遂げ、幾たびも文化の最高峰を作り出したのである。この古く神秘的な江淮の地に行く機会があれば、ぜひその村々へ足を運び、庶民の日常、風習を通して生き生きとした安徽文化を味わっていただきたい。 孔



供图：夏必俊 夏必俊

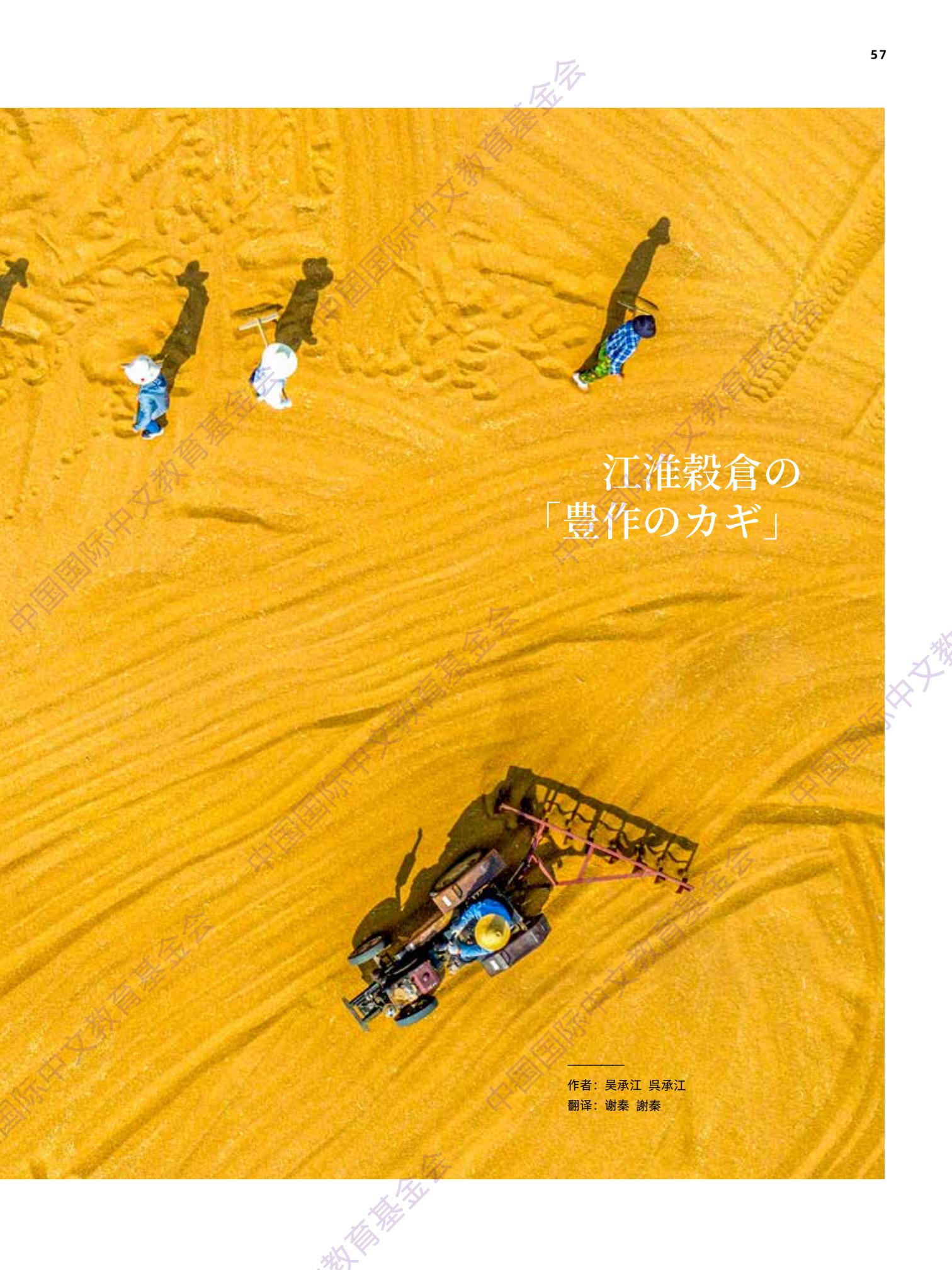
安徽地处中国华东腹地，长江、淮河穿境而过，将安徽划成三大块：淮河以北的平原地带、江淮之间的冲积平原和沿江江南丘陵地带。年平均气温14-17度，年降雨700-1700毫米，年无霜期200-250天。肥沃的土地，温和的气候，充沛的降雨，让安徽这片土地非常适宜多种作物生长，安徽的农产品品种齐全，粮食作物以小麦、水稻为主，自古以来是鱼米之乡。

2022年，安徽省粮食总产量4100万吨，产量位列中国第四。安徽，以占全国4.3%的耕地生产了全国6%的粮食，每年净调出粮食200亿斤左右，成为中国5个粮食净调出省份之一。

安徽は中国の華東地方に位置し、淮河、長江によって三つの地域に分けられている。淮河より北の方は平原地帯で、淮河と長江の間は沖積平野となり、長江より南の方は丘陵地帯である。年平均気温は14～17度前後で、年間降水量は700～1700ミリ、無霜期は年間200～250日もある。肥沃な土地、温暖な気候、豊かな降水に恵まれており、安徽は小麦とお米を主食とし、様々な作物が多く作られ、豊富な物産を有している。

2022年、安徽省の食糧生産量は4100万トンに達し、中国では第四位となった。全国耕地の4.3%の保有量でありながら、食糧生産量は全国食糧総量の6%も占めている。さらに食糧調達量は100億キロにも達し、中国では五番目の省となった。

江淮粮仓的 “丰收密码”

An aerial photograph of a vast, golden wheat field. In the lower center, a red tractor with a blue engine and a yellow wheel is pulling a pink harrow. In the upper left, three people are walking across the field, their shadows cast long and dark. The field is marked with numerous tire tracks and footprints, creating a textured, wavy pattern across the golden surface.

江淮穀倉の 「豊作のカギ」

作者：吴承江 吳承江
翻译：谢秦 謝秦

机械化 生产效率高

機械化生産による効率アップ

徐淙祥是安徽省阜阳市太和县旧集镇张槐村农民，70多岁了。他种了一辈子的地，从过去种植10多亩土地，到现在以土地流转、入股的形式，经营着一家面积达1200多亩的家庭农场。2022年他因家庭农场上了电视节目，一时间被很多人关注。

2022年夏，徐淙祥的农场取得了“历史性丰收”，小麦亩产最高超过1600斤，“原来小麦超千斤就不错了，现在能达到1200斤、甚至1600斤，这得益于优良品种推广、农业技术实施、大型机械的耕作以及科技化的管理。”徐淙祥高兴地说。

1972年，徐淙祥高中毕业后当了生产队长，后来先后担任过村书记，评上了劳模，当选人大代表，“那时候，小麦亩产量只有600斤，大豆只有几十斤，玉米也仅有几百斤，农民吃不饱穿不暖。”

徐淙祥潜心钻研农业科学技术，力求推进品种改良，改变村里粮食产量低、品质差的状况。2010年，徐淙祥带领村民成立了太和县淙祥现代农业种植专业合作社，把村民们的土地租来，由他进行小麦、玉米、大豆的优质高产栽培管理。村民通过土地合作入股，每年稳定收租，做到旱涝保收，还能在农场里打工。

“规模出效益，农业的出路还在于机械化。”徐淙祥说。1200多亩土地一眼望不到边，在田间每隔几米就会有一个水泥围成的小墩子，徐淙祥介绍，那是浇水的井口，一亩地十几个喷管井口，配合机械化设备一下能浇四五百亩。而像打药，以往人工背着药桶打药成本太高，现在利用飞行器打药，上千亩合算下来成本还更低。

除了机械化管理，徐淙祥还重视循环绿色发展。对于农场中的秸秆问题，他同县里的养殖大户以及菌菇种植企业开展合作，多余的秸秆提供给养牛大户当做饲料或当做菌菇生长的培养基，换取来的牛粪、菌渣再用于肥田。

田间，打捆机已经把多余的小麦秸秆打包捆好；旋耕机犁过重新准备好的地块；徐淙祥还会站在田间指导技术人员调整玉米播种机，播种机折返前进、来回穿梭，一趟就能把玉米种子分四列种下。

徐淙祥的儿子徐健、孙子徐旭东现在也跟他干起了粮食生产。徐淙祥说，祖孙三代将拧成一股绳，继续钻研农业科技，争取研制更多的新品种，种出更多品牌粮。



供图：徐旻昊 徐旻昊



徐淙祥さんは安徽省阜陽市太和県旧県町張槐村で農業を営んでいる。人生70余年は農業一筋であった。昔は十亩(約0.67ヘクタール)の耕地を扱っていたが、現在、土地回転や株主投資の形で1200亩もある農場を経営するようになった。2022年、徐さんの農場はテレビ取材を受け、大いに注目を集めた。

2022年の夏、徐淙祥さんの農場は歴史的豊作となり、小麦の生産量は一亩あたり800キロを超えた。「昔は一亩あたり500キロができれば十分満足していたが、今は時に600キロ、時には800キロまでもできている。これは、優良品種の普及、農業技術の発達、大型コンバインの利用そして先進的な管理のおかげだ。」と徐さんは嬉しげに語っている。

1972年、高校卒業後の徐淙祥さんは生産隊長になり、その後村の書記をも務めた。労働模範に選ばれ、人民代表大会の代表にも当選した。「あの時は、小麦の生産量は一亩あたり300キロしかなかったし、大豆もトウモロコシもそれほどたくさん作れなかった。農民たちは貧困にかなり苦しんでいた。」

徐淙祥さんは農業技術の開発に専念し、品種改良によって、食糧生産の向上と低品質の改善を図った。2010年、徐淙祥さんは村民を率いて「太和県淙祥現代農業合作社」を立ち上げた。村民の農地を借り入れ、小麦、トウモロコシ、大豆の高品質栽培に挑んだ。村民は株主になり、毎年安定した投資収入を獲得できるほか、徐さん

の農場で働くこともできた。

「規模は収益の決め手だ。農業はやっぱり機械化を実現しないと」と徐淙祥さんは話した。1200亩もある農場は見渡す限り広大である。田畑の中に数メートル間隔で小さなコンクリートの台が見える。徐さんの紹介では、あれが灌漑用の井戸口で、一亩の農地に十何個も取り付けられている。これらによって、四百から五百亩の農地を一気に灌漑できるそうだ。農薬散布もそうである。昔の人工散布はコストが高すぎる。今は農薬散布専用の飛行器を利用しているので、千亩以上の土地で計算するとコストが大幅に削減されたと言える。

農場の機械化管理のほか、徐淙祥さんは環境保護にも力を入れた。小麦収穫後大量の麦茎が残されるが、それを畜産業や茸栽培を営む農家と連携することによって、牛の餌や茸の培養土に変身させる。また、農家からもらった牛糞や茸の滓などを自分の農地の肥料に使う。

徐さんの農場では、麦茎は梱包機できれいに梱包されている。田畑は機械によってしっかりと鋤かれては整えられる。徐さんは田畑で技術員に播種器の使い方を指導している。播種器は田畑に縦横に走り、トウモロコシの種が四列ごとに一斉に撒かれた。

徐淙祥さんの息子の徐健さん、孫の徐旭東さんも現在徐さんの農場経営を手伝っている。徐さんは、親子で力を合わせて、農業技術の開発や新品種の培養そして一流の銘柄をもつ食糧をたくさん作りたいと抱負を語った。



供图：郭海洋 郭海洋



供图：崔猛 崔猛

科技“种田”获丰收

科学技术あるからこそ豊作

每年的5、6月份，皖北地区普遍高温少雨，对夏种产生了不利影响。但在安徽省亳州市谯城区赵桥乡种粮大户焦瑞的粮田里，新栽种的玉米已早早探出了头，悠闲地享受着“人工降雨”的滋润。

这里的“人工降雨”，是水肥一体化自动灌溉系统带来的。2021年，谯城区投入近9000万元对赵桥乡4万亩农田进行高标准建设，焦瑞流转的1000亩土地，就属于高标准农田建设区域。

“经过高标准建设，农田旱能浇、涝能排，变成了丰收的‘宝地’。”焦瑞开心地说，高标准农田土地平整、集中连片、设施完善，沟、路、桥、电、井全配套，种地信心更足了。

“以前浇水，要把拖拉机开到地头，用柴油机带动水泵抽水，成本高。”谯城区芦庙镇袁庄村村民朱红彬拿出一张智能灌溉射频卡说，“现在只要用这张卡在机井灌溉控制器上一刷，喷灌设备就能出水了。”得益于高标准农田建设，在2022年小麦生长期干旱少雨的情况下，朱红彬的小麦亩产比2021年增加了150斤。

在安徽，病虫害绿色防控手段有很多，在一些农场亮起“另一盏灯”——太阳能杀虫灯。在合肥市庐江县同大镇江霞



供图：郭海洋 郭海洋

谷物种植家庭农场，1177亩连片的稻田，约50亩布设一盏太阳能杀虫灯，“这个灯白天能利用太阳能板储备电能，夜晚发出淡蓝色的光，利用昆虫趋光性原理，将稻田害虫引入灯罩将其消灭，从而减少稻田害虫基数。”农场负责人陈永江说，利用这些新科技，水稻亩产预计超1500斤，不仅产量高，而且品质好。

农田里，无人驾驶的旋耕机正在沿直线前行，到了田头自动拐弯掉头，对齐第二垄继续旋耕，一系列动作一气呵成。在六安市金安区安徽春泉农业科技有限公司的现代农业示范田里，这一炫酷“表演”让人切实感受到科技给种田带来的大变化。

“我们的拖拉机、收割机、插秧机等农机上都安装了‘北斗无人驾驶系统’，远程操控，农机会根据指令，按照规划好的路径进行作业。”安徽春泉农业科技有限公司总经理朱云飞介绍，目前这种“无人驾驶”耕作方式相比以往，精准度和工作效率都大大提升了。

从“靠天收”到“慧”种田，随着5G、人工智能、大数据等新一代数字技术在农业领域的推广运用，智慧农业日益成为安徽农民的“金扁担”。

毎年の五月か六月となると、皖北地域は高温少雨の季節に入る。これは夏の畑仕事に非常に不利である。安徽省亳州市譙城区趙橋郷に大きな農家を抱える焦瑞さんの田畑には、植えたばかりのトウモロコシはすでに新芽が萌えて、「人工降雨」による雨水を浴びながら生き生きとしている。

ここの「人工降雨」は、水撒きと肥料散布を一体化させる自動灌漑システムによるものである。2021年、譙城区は趙橋郷に9000万円も投資し、四万亩の田畑の高基準改造を行った。焦瑞さんの1000亩の田畑はこの高基準改造によるものである。

「高基準改造を通して、田畑は日照りにあっても、降雨が多すぎても、すぐに対応ができ、まさに豊作の宝地となった。」と焦瑞さんは嬉しい様子だった。高基準改造によって、農業用土地が整えられ、面積も広げられた。そして、水堀り、道路、橋、電気、井戸などの設備がしっかりと備わるようになった。これで田畑を耕す際にもう自信满满である。

「昔の灌漑といったら、トラクターを駆使し、ディーゼルエンジンで吸い上げポンプを起動させないといけなくて、コストがかかるものだった。」譙城区芦廟町袁庄村に住む朱紅彬さんは、灌漑用スマートカードを見せながら、「今はこのカード一枚で灌漑制御器を起動させ、灌漑設備はすぐに水を出してくれる。」と語る。高基準改造のおかげで、日照りがひどく、水不足だった2022年にも、朱紅彬さんの小麦の生産量は2021年より一亩あたり75キロの増加が実現された。

安徽省では、環境保護を兼ねての殺虫法が多くある。例えば、農場に特殊な「明かり」がつけてあるのがよく見られ

る。これは太陽熱殺虫灯である。合肥市芦江県同大町にある江霞穀物栽培家庭農場では、1177亩もある広大な稲畑に50亩ずつ一本の太陽熱殺虫灯が取り付けられている。「お昼に反射板で太陽熱を集め、それをエネルギー源として、夜になると、青色の灯がつくのだ。この殺虫灯は害虫の趨光性を利用するもので、害虫をランプのかさに誘い込んでから殺すのだ。これで稲畑の害虫数が激減した。」と、農場担当者の陳永江さんは説明してくれた。新しい技術を利用することによって、稲の生産量は一亩あたり750キロをも超えると見込まれる。それだけでなく、稲の品質も抜群である。

田畑では、無人耕作機はまっすぐに走り、突き当りに自動的にユーターンして、次の列を走る。一連の動作は一気呵成に仕上げられている。これは六安市金安区安徽春泉農業科技有限会社の現代農業模範田の風景である。人々は、形が大きく変化する耕作の格好よさに科学技術の力を思い知らされている。

「われわれのトラクター、刈り取り機、田植え機など、みんな『北斗無人運転システム』を導入している。遠距離操作で指令を出したら、機械は指令通りに始動してくれる。」と、安徽春泉農業科技有限会社の社長朱雲飛さんは紹介してくれた。「無人運転」による耕作方式は作業の精密度や効率アップを実現させたという。

「天」にお任せ方式の農業から「知」的農業へと変身するのに、5G技術、人工知能、ビッグデータなどの新しいデジタル技術は農業に大いに応用され、豊作のカギとなった。知的農業は次第に安徽農家の「金天秤棒」となっている。



供图：孙向东 孫向東

年轻人成为“兴农人”

若者は「農業振興」の担い手

如今，越来越多的年轻人、特别是中高端人才，也一起扎根现代农业，参与到安徽的乡村振兴事业中。

2022年夏种时节的一天，33岁的平东林正在指挥插秧机手插秧，“1300亩空闲田今晚全部完成插秧，4800亩麦茬田后天开始插秧，8台高速插秧机、3台手扶插秧机全部上阵，基本能满足我们托管的6个村6200亩农田的需求。”平东林说。

平东林是滁州市天长市汉涧镇张营村人，毕业于华中师范大学——一所著名的中国高校，之后进入安徽一所高校任教。2015年，25岁的他前往菲律宾一所大学攻读硕士。在菲期间，他被当地的现代农业深深吸引，“植保无人机施肥、自走式育秧、生态餐厅、农业物联网……这些先进技术完全颠覆了我对农业的传统印象，一个小小的有机南瓜卖到15块钱一个。”平东林说。

2017年回国后，平东林放弃在上海工作的机会，回乡创办天长市禾禾生态农业专业合作社，他过去的4名学生也陆续加入。

无人机施药、利用手机进行田间管理、“共享农机”……对于平东林来说，这些父辈们想不到，也不会做的事，都变成了现实。比如400多亩油菜，以前用传统喷雾机除草，需要6个人忙两天，现在两个人操作两架无人机，半天就能完成。

平东林的学生何德雨毕业后曾在江苏苏州从事工业软件设计工作，如今在合作社负责飞机施药防治作业社会化服务。“农业是下一个风口，我们年轻人要敢于做第一个吃螃蟹的人。”何德雨说。

成立志愿服务队，帮助村民销售农副产品、提供公益岗位、资助贫困学生；疫情期间捐赠消毒剂、农副产品，义务开展消毒防疫、义务献血……平东林和他的小伙伴们以实际行动回报社会、回报乡亲。

现在越来越多像平东林这样的年轻人开始返乡，农业将是一个新兴的产业。在科技的加持下，如今江淮大地焕发出新的活力，将把江淮粮仓建设成科技化、数字化、智能化粮仓。





供图：崔猛 崔猛

今頃、多くの若者、特に優秀な人材は現代農業に携わり、安徽の農村振興事業に献身している。

2022年夏の農繁期のある日、33歳の平東林さんは田植え機の指揮を執っている。「1300亩もある田畑の田植え作業は今晚完了させる。明後日から4800亩の麦を作った後の畑の田植え作業を始める。高速田植え機8台、人力田植え機3台一斉に発動する。これでわれわれの依頼主である六つの村計6200亩の田植え作業が賄える。」と平東林さんは話してくれた。

平東林さんは滁州市天長市汭澗町張管村の出身で、華中師範大学(中国名門)を卒業してから、安徽にある大学で教職に就いた。2015年、25歳になる平さんは進学を決意し、フィリピンの大学の修士課程に入った。やがてフィリピンの現代農業に魅了された。「無人機による肥料散布、自動式田植え、生態レストラン、農業のインターネットオプティクス(IoT)など、これら先進的な技術は私の農業に対するイメージを完全に覆した。小さな有機カボチャは一個15円で売られているなんて」と平さんは当時の様子を語ってくれた。

2017年、帰国した平東林さんは上海就職の誘いを断った。故郷に戻り、天長市禾禾生態農業専門合作社を立ち上げた。教え子四人が次々と入社してきた。

無人機による農薬散布、スマートフォンによる田畑管理、「農機共有」等々、平東林さんにとって、親の代が考

えられないことが今では現実となったというのである。400亩の油菜畑、昔の伝統的な噴霧式除草では六人が二日かかった作業は、今では二人が無人機二台を駆使して半日で終わるものとなった。

平東林さんの教え子である何徳雨さんは、大学卒業後、江蘇省蘇州市で工業ソフトウェア開発の仕事をしていた。今は合作社で無人機農薬散布の防虫作業サービスを担当している。「農業はこれから必ず注目的になる。われわれ若い人は『カニを食べる第一人者』的挑戦者になるべきだ。」と何さんは言う。

ボランティア団体をつくり、農家の農産物販売を助けたり、公益的働き口を提供し、貧困学生を援助したりするほか、新型コロナウイルス感染防止期間中、消毒剤や農産物を寄付したり、消毒防疫や献血のボランティア活動に参加したりしてきた平東林さんたちは、実際の行動を用いて故郷への恩返しをしているのであった。

今では、平東林さんのように故郷に帰る若者はますます多くなっている。農業はこれから新興産業になるだろう。科学技術に助けられ、江淮大地は新しい活力にあふれており、江淮の穀倉もますます科学化、デジタル化、知能化を実現していくのであろう。孔



供图：夏必俊 夏必俊

安徽制造，“皖美”前行

安心と信頼の安徽製

作者：吴承江 吴承江

翻译：韩宇 韩宇



2022年9月、第五届世界制造业大会如期在安徽合肥举办。大会共组织参展企业645家，展出产品5000余件。促成合作项目567个，总投资额3794亿元。其中，中外合作项目31个，总投资324亿元。线下累计接待观众5.9万人次，线上展会各类业务访问量达1008万人次。此外，围绕新一代信息技术、高端装备制造、新材料、新能源、新家电等领域，一大批“黑科技”在大会上亮相并引起了广泛的关注。

2022年9月、第5回世界製造業會議(WMC)は安徽省合肥市で無事開催されました。645の出展企業が参加し、5,000点以上の製品が展示された今大会では、567の共同プロジェクトおよび3,794億元規模の投資を実現しました。うち、海外との共同プロジェクトの数は31で、総投資額は324億元でした。オフラインではのべ5.9万人が来場し、オンラインでは同1,008万人が訪問することとなりました。次世代ITの実用化をめぐり、ハイエンド製造、新素材、新エネルギー、スマート家電などの分野では、多くのブラック・テクノロジーが登場し、広く注目を集めました。

安徽制造业历经多年发展，产能巨大。现在每分钟，有70台笔记本电脑、21台彩色电视机、1.8辆汽车、0.5辆新能源汽车在安徽被生产出来，新能源汽车产量位居中国第五，中部省份第一……

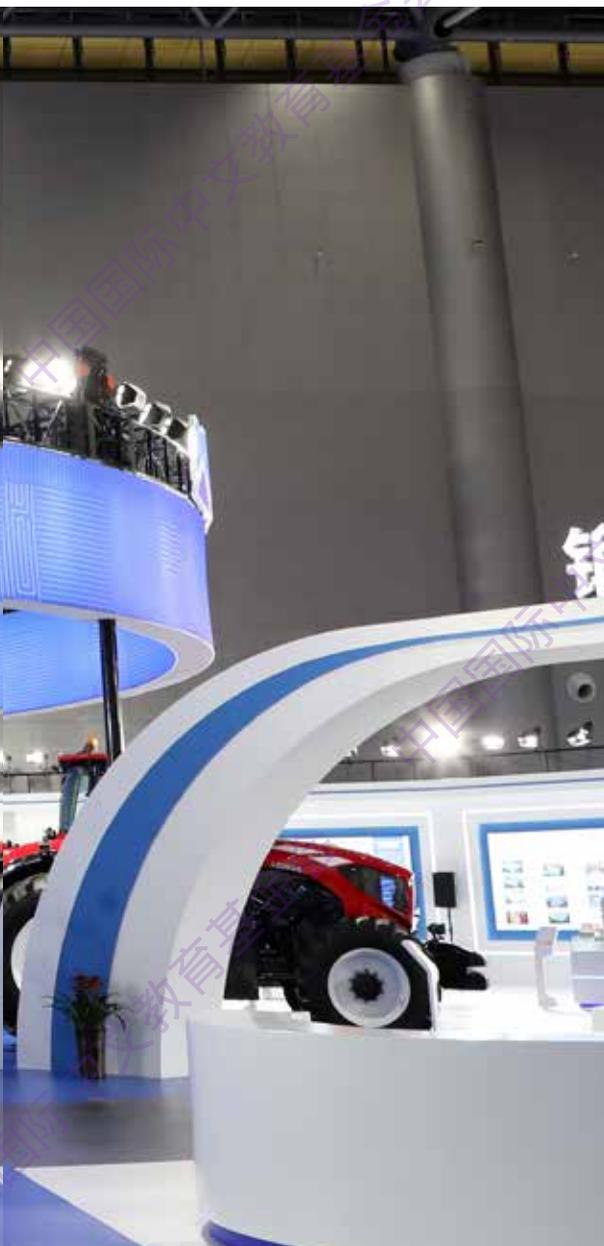
安徽省は製造業の歴史が長く、巨大な生産能力を抱えています。今では、1分あたりに70台のノートPC、21台のカラーテレビ、1.8台の自動車、さらに0.5台分の新エネルギー車が作り出されます。新エネルギー車の生産台数においては、全国で第5位、中部地方で第1位の実績を誇ります。

以合肥、芜湖、滁州三大家电产业集群为主力，安徽相继创立了美菱、荣事达等本土知名家电品牌，又引入了海尔、美的、格力、博西华等一大批国内外知名品牌落户，家电从业人员50多万人，科技研发人才2万余人。

安徽省では、合肥市、蕪湖市、滁州市の3大家電産業クラスターを中心に、「美菱(Meiling)」や「榮事達(Royalstar)」といった地元ブランドの育成をはじめ、「ハイアール」、「美的(Midea)」、「格力(GREE)」、「BSH」など国内外の有名ブランドの誘致にも力を入れてきました。今のところ、雇用者計50万人以上、研究開発者2万人以上という規模まで成長しました。

如今，产自安徽的智能家电为人们构建了一幕幕智慧化生活场景，并将影响我们的现实生活。

今日、安徽製のスマート家電は、人々にスマートライフを満喫する場面を提供し、私たちの日常生活に大きな影響を与えているのです。



回家之前，在手机App上简单操作即可提前开启卧室空调；安上了“眼睛”的空调学会随时观察，自动调高温度；不会做饭的厨房小白，有机器人大厨一键解决……

帰宅前にスマホアプリによる簡単な操作で寝室のエアコンをつけておくことも、「目(すなわち探知機能)」の付いたスマート・エアコンなら、環境温度を自動的に検知、必要に応じて調節してくれることも、素人に代わり、調理ロボットがボタン一つで美味しい料理を作ってくれることも、ここでは可能になります。

从冷冻室里拿出来肉类处于似冻非冻状态，用户可以即拿即切，不用等待。

さらに、専用の冷凍庫から取り出す肉は、「瞬冷凍」と呼ばれる状態に保存されたため、待たずにすぐ切ることができるのです。

除了智能家电，其他一些领域的传统制造业迎来了转型升级。

以上のスマート家電に加え、伝統的な製造業の分野でも、高度化が進んでいます。

玻璃，是生活中随处可见的普通材料，经过蚌埠市中国玻璃新材料科技产业园高科技的加工，一片玻璃有了新的功能和形态：可以做得比纸还薄，可以随意弯曲折叠，不仅可以用作建筑墙体的外立面，还能用来发光发电。

例えば、蚌埠市にある中国ガラス新素材科学技術産業パークでハイテク加工されたガラスは、ありふれた素材から新たな機能と形を持つようになります。紙より薄く、自由に曲げたり折り畳んだりできるため、壁面のファサードだけでなく、太陽光発電にも使用することが可能です。

电脑，人们再熟悉不过，但你见过会“变形”的电脑吗？联宝(合肥)电子科技有限公司研发的电脑伴随着屏幕开合折叠，它可以合拢成一

个黑色的“笔记本”，也可以充分展开为平板电脑样态。当与内置的小型键盘搭配，它又变成了一台小巧的笔记本电脑。折叠屏的运用让笔记本电脑重量减轻，折叠后尺寸变小，给人们带来更加轻松便捷的使用体验。

現代人にとって、PCほど馴染みのあるものはないかもしれませんが、自由自在に「変身」できるPCはこれまで見たことがありますか。聯宝(合肥)電子科技有限公司(LCFC)が開発した新製品は、全体がディスプレイになって、真ん中から折り畳むことができます。一見すると普通の黒い小型ノートPCですが、開くと巨大画面が現われ、大画面タブレットに変身します。さらに、ワイヤレスのキーボードが付属しているので、小型ノートPCと変わらない使い勝手を実現してくれます。このように、折りたたみディスプレイによって、様々なスタイルで利用することができる一方、カバンに入れることはもちろん、片手でどこにでも持ち運ぶことが可能になったので、今までの製品とまったく違う感覚で楽しむことができるのです。

机器人，被誉为“制造业皇冠顶端的明珠”，在芜湖市埃夫特智能装备股份有限公司，应用于不同行业的机器人正在施展“十八般武艺”：智能喷涂机器人可以根据家具形状调整喷涂轨迹；柔性焊接机器人能灵活移动，精准抵达焊缝。

蕪湖市埃夫特智能機器株式有限公司(Efort)に行くと、「製造業の至宝」とされるロボットは、様々な産業で活用できるように作られています。AIを用いた塗装用ロボットは家具のデザインに応じて塗装手順を調整し、溶接用のソフトロボットなら、柔らかくしなやかな動きを通じて、精度の高い溶接を実現してくれます。





区域创新“吸睛”无数

イノベーション地域として、一目置かれる存在へ

创新是制造业高质量发展的灵魂，安徽区域创新能力已连续10年位居中国第一方阵。

製造業の高度な成長を実現する上で、鍵となるのはイノベーション能力です。地域別のイノベーション能力を示すランキングでは、安徽省は10年連続国内トップクラスの成績を収めています。

值得称道的是，北京冬奥会上到处闪现着安徽制造的身影。2022年2月4日，北京冬奥会开幕式上，当运动员将主火炬“飞扬”插进巨型“雪花”中心，那一刻，中国式浪漫惊艳世界。“飞扬”宛如丝带飘舞，美轮美奂，而这是安徽哈特三维3D打印出来的。合肥京东方生产的上百块LED双面屏组成巨型的“雪花”，在开幕式上大放异彩；合肥全色光显与中科大研发的全色激光投影机，在国家跳台滑雪中心“雪如意”上投射画质清晰的“雪屏幕”；科大讯飞提供的便携式、穿戴式翻译设备，让交流无障碍……“安徽制造”闪亮冬奥的背后，是科技实力的支撑。

ここで特筆すべきなのは、2022年に開かれた北京冬季五輪の至る所で、安徽製の活躍ぶりが見られたことです。2月4日の開会式では、最後のランナーが雪の結晶の形をした聖火台に点火し、中国ならではのロマンを演出しました。2本のリボンが重なり合い、ひらひらと舞う様子から「飛翔」と呼ばれるこの聖火トーチは、安徽省の企業である哈特三維(HIT 3D)の3Dプリント技術で作られました。一方の聖火台は、合肥市にある京東方(BOE)の子会社で製造された100近くの両面LEDディスプレイで構成されています。その他、合肥全色光顯(Full Color)と中国科学技術大学で共



同開発したフルカラーレーザー搭載の大型プロジェクターは、国立スキージャンプセンターである「雪如意」の高画質実況映像を実現しましたし、科大迅飛(iFLYTEK)が提供した同時通訳用のポータブル端末やウェアラブル端末は、相手の言葉を読まない人同士の会話を可能にしてくれました。北京冬季五輪で安徽製を輝かせたのは、他ならぬ科学技術の力によるものです。

安徽省の省会合肥是全国4个综合性国家科学中心之一，拥有首批国家实验室，科学装置数量居全国前列，全超导托卡马克、稳态强磁场、量子科技……创造多项世界纪录，孕育前沿科技成果。在量子通信、动态存储芯片、陶铝新材料、超薄玻璃等领域，安徽实现领跑。

安徽省の省都である合肥市は、4つある全国レベルの総合国家科学センターの1つです。最初に作られた国立研究所もそこにあれば、科学機器の数も全国屈指のレベルを誇ります。全超伝導トカマク、定常強磁場、量子技術といった最先端技術で多くの世界記録を打ち立てました。さらに、量子通信、ダイナミックメモリチップ、セラミック-アルミニウム新素材、超薄板ガラスなどの分野においても、先頭を走っています。

新型显示产业，安徽建成全球首条10.5代液晶面板生产线，汇聚上下游企业上百家。集成电路产业，安徽诞生中国首个5G毫米波滤波芯片、全球首款可穿戴领域人工智能芯片等创新成

果。智能语音产业，科大讯飞是安徽一张响亮的名片，现在已发展成为亚太地区最大的智能语音和人工智能上市公司，其在智能语音领域的技术一直保持着国际领先的地位。科大讯飞研发的翻译机支持中文与英、俄、日、韩等多国语言的离线即时翻译，即使没有网络也能实现交互式畅聊无阻。2022年世界制造业大会上，这种技术与AI结合，被应用到更多的方面，包括日常生活，提供了更多语言服务和便利。

先端ディスプレイ産業では、世界初の10.5世代LCDパネル工場を建設し、川上から川下まで100社近くの企業を集積させました。ICチップ産業では、国内初となる5G対応のミリ波フィルターや、世界で初めてのウェアラブル・デバイス用のAIチップなどを誕生させました。AIアシスタント機能を搭載した音声認識・音声操作の分野となると、安徽省を代表する科大迅飛(iFLYTEK)はアジア・太平洋地域における業界最大手の上場企業で、世界に誇る技術力で確固たる地位を築きました。同社が開発した音声翻訳機は、中国語や英語、ロシア語、日本語、韓国語など多国語の同時通訳をサポートし、ネットワークのない環境でもストレスフリーな会話ができます。2022年の世界製造業会議(WMC)では、AIと組み合わせることによって、日常生活を含め、より多くのサービス、より高い利便性が提供されました。

中外合作成果丰硕

海外の企業と共同で、実りある成果を

2022年世界制造业大会上，来自美国、德国、英国、法国、俄罗斯等11个国家的53家企业和机构共85位客商参会。其中，世界500强及跨国公司21家，包括大陆集团、康宁公司、渣打银行等公司在华高层，以及日立、联合利华、法液空等其他世界500强及跨国公司。

2022年の世界製造業会議(WMC)には、アメリカ、ドイツ、イギリス、フランス、ロシアなど11カ国53の企業・団体が参加し、総勢85社の代表が集まりました。中には、日立、ユニリーバ、AIRPのように、フォーチュン500社に選ばれるほどの有力企業が多く含まれ、コンチネンタル、コーニング、スタンダード・チャータード銀行など21社の現地法人のトップが訪れました。

大会期間、重要活動之一的皖德企业对接会顺利举行，邀请了大众、博世、西门子、宝马等多家德国知名企业，与80多家中企一一对接洽谈。

大会期間中に、最も重要なイベントの1つである「安徽省とドイツの企業間のビジネス支援マッチング大会」が成功裏に開催されま

した。フォルクスワーゲン、ポッシュ、シーメンス、BMW、言わずと知れたドイツ企業の多くが招かれ、80社以上の中国企業と1対1のマッチングが行われました。

2022年1月至8月，中国新能源汽车产销分别完成397万辆和386万辆，同比增长1.2倍和1.1倍。“全球新能源电池供应链主要集中在中国及其周边国家，中国已不仅是一个巨大的市场，还是创新的伙伴。”对接会上，德国工商大会上海代表处首席代表马铭博说。

2022年1月から8月にかけて、中国での新エネルギー車の生産台数と販売台数はそれぞれ397万台、386万台に達し、前年同期比1.2倍と1.1倍を記録しました。マッチング大会に参加した在上海ドイツ商工会議所代表のマクシミリアン・ブティック氏は、「世界の新エネルギー電池のサプライチェーンは主に中国およびその周辺の国々に集中しており、中国は単なる巨大市場だけでなく、イノベーションにおける重要なパートナーでもある」と述べました。





德国制造业发达、创新能力全球领先，与安徽在科技创新、经贸交流、高端制造方面有诸多契合点。

2021年安徽省对德国进出口额34.62亿美元，增长39.8%，德国在安徽省新设企业10家，实际利用外资751万美元，同比增长297.4%。目前，安徽省已经有6个中德(安徽)合作产业园区，世界500强德国大陆集团在合肥独资设立首个轮胎生产基地。

ドイツは製造業が発達し、世界有数のイノベーション能力を有しています。イノベーション、貿易、ハイエンド製造などにおいて、安徽省との適合性が高いです。

2021年、安徽省の対独貿易総額は34億6,200万米ドル(同期比39.8%増)に達し、1年で新たに10社の独系企業が設立され、投資実績額は751万米ドル(同297.4%増)を記録しました。現在、安徽省では6つの中独(安徽)共同産業パークが稼働し、フォーチュン500社に選ばれたコンチネンタル・グループは初めて、合肥市に100%出資のタイヤ生産基地を設立しました。



2017年12月22日，大众汽车(安徽)有限公司正式成立，由大众汽车集团与安徽江淮汽车集团股份有限公司合资组建。这是中国首家新能源汽车合资企业，也是德国大众与中国车企第三次展开的深入合作。在短短18个月内，大众汽车(安徽)有限公司在其全球领先的MEB工厂中实现了设备和基础设施的建设。占地14万平方米的车身车间配备了约900台机器人，是大众汽车在中国工厂



中自動化率最高の车间。2022年12月、已成功下线首台预量产车型的大众安徽，正全力以赴推进其首款新能源车型2023年底的投产工作。

2017年12月22日、フォルクスワーゲン・グループと安徽江淮自動車グループの合弁会社として、フォルクスワーゲン(安徽)有限公司が正式に設立されました。同社は中国初となる新エネルギー車の合弁会社で、独フォルクスワーゲンと中国の自動車メーカーの間に行われる踏み込んだ業務提携として、今回で3回目となりました。その後、わずか1年半で設備とインフラ建設を完了し、世界をリードするMEB化対応の工場を実現しました。敷地面積14万平方メートルのボディ工場には、およそ900台のロボットが設置され、国内のフォルクスワーゲン工場の中で最も高い自動化率を達成しました。2022年12月に量産モデルの試作に成功したフォルクスワーゲン(安徽)は、2023年末までの新エネルギー車の量産開始に向けて、準備を進めているところです。

在安徽省宁国市的安徽中德(宁国)国际合作智能制造产业园展厅内，一波接一波的客商来寻求合作。宁国市的汽车零部件产业已有40余年发展历史，正奋力打造的安徽中德(宁国)国际合作智能制造产业园，将形成集汽车底盘系统及减震降噪零部件的研发、制造、产品试验、整车路试、物流和贸易的综合体，助力产业高质量发展。

安徽省寧国市にある安徽中独(寧国)国際合作知能製造産業パークの展示ホールには、ビジネスチャンスを探る企業は後を立ちません。同市の自動車部品産業は40年以上の歴史を持ち、産業パークの更なる発展を目指しています。将来的には、自動車のシャーシ・システムや振動・ノイズ対応部品の開発・製造から、試作品テスト・完成車走行テスト、物流・貿易までの複合サービスを提供する予定です。



以中德合作为代表，彰显了安徽制造业市场巨大的吸引力，数据显示，前四届大会各参会方累计签约中外合资项目2454个，总投资达到2.16万亿元。一个风采卓然的“制造强省”，将带来持续不断的惊喜与震撼。

このように、中独間の共同プロジェクトから安徽省の製造業の可能性を垣間見ることができます。過去4回の同大会から計2,454件の共同プロジェクトが生まれ、投資総額は2兆1,600億元にも達しました。「モノづくりの安徽省」として、これからもサプライズと感動の連続に期待したいところです。

五千多年前，安徽凌家滩的一枚钻头，以难以想象的精度、硬度，体现了安徽先民的聪明智慧，彰显了安徽古代制造非凡的工艺水平。两千五百年前，安徽卓越的青铜铸造技术，是对世界制造的杰出贡献。穿越时空、传承千年，现在，精湛的安徽制造和卓越的工匠精神依然熠熠生辉。

5,000年以上前に安徽省凌家灘で誕生したドリルビットは、想像を絶する精度と硬度で、先人の知恵と技術の高さを物語っています。2,500年前に使われたとされる高度な青銅鑄造技術は、世界の製造業に多大なインパクトを残しました。時空を超え、何千年もの間受け継がれてきた安徽省ならではの精緻なモノづくりと卓越した職人魂は、今もなお輝き続けています。

❶

祖父がついてくれた 正月の餅



爷爷为我打年糕

作者：谢婷 謝婷

翻译：马场节子 馬場節子



我的童年是在江南水乡度过的。爷爷奶奶院子里每一个角落都留下了我和兄弟姐妹们的脚印与欢笑。

每当临近春节，爷爷奶奶打年糕的时候，我们都乐得欢蹦乱跳，因为打年糕意味着马上就要一家人团聚吃年夜饭了。

刚打出来的年糕雪白细腻，我们总是来不及等它被切成小块揉搓成型，就直接从打年糕的石缸中揪下来一块，什么料都不用加，直接塞进嘴里，满口软糯香甜。爷爷假装生气地批评我们这帮馋猫，奶奶则在一边念叨“年糕，年高，吃了一年更比一年高”。

爷爷制作年糕的手艺还是爷爷的爷爷手把手教会我的。他15岁第一次抡起木锤时，便与年糕结下了缘。老家制作年糕的主要原料是糯米和粳米，粳米要选当年最晚成熟的一拨晚粳米。两种米按比例混合后要浸泡一整天，米喝饱了水，就会变得白白胖胖的。将泡好的米放进石磨，细细碾压之后变成米浆，再沥干，就出现了颗粒均匀的米粉。接下来就要蒸米粉了。爷爷说：“蒸米粉看着简单做起来难。揉搓的力道、火候的把控、时间的长短，一点都马虎不得！年糕做得好全靠米粉蒸得好。”



私は幼年時代を江南の水郷で過ごした。祖父母の家の庭にはそこかしこに私と兄弟姉妹の足跡や楽しげな笑い声が残っている。

春節が近づいて、祖父母が餅つきをするとき、私たちはうれしくて跳びはねた。餅つきはすなわち、もうすぐ家族が集まって年越しの食卓を囲むということを意味するからである。

つきたての餅は雪のように白く滑らかで、私たちはいつも、小さく切って丸めて形を整えるのを待ちきれず、餅をついた石臼の中からじかにちぎって取り、何もつけずそのまま口に入れた。口の中いっぱいにもちもちした餅の甘い香りが広がった。祖父は怒ったふりをしてこの食いしん坊めと叱り、祖母は傍らで、「お餅を食べると、年ごとに幸せが多くなるのよ(中国語で餅を意味する「年餅」が、年ごとによくなるという意味の「年高」と同じ発音であるため)」とつぶやいた。

祖父の餅作りの技もまた、祖父の祖父に手を取って教えられたものだという。15の年に初めてきねを振り上げたときから、祖父と餅との縁が始まった。実家で作る餅の主な材料はもち米とうるち米で、うるち米はその年に最も遅く実った晩稲(おくて)を選ばなければならない。この2つの米を決まった割合で混ぜて、丸1日水に漬けておくと、米が水を十分に吸って、白くふくれる。しっかりふやかしたその米を石臼に入れ、細かく砕くとペースト状になり、その水気を切ると、粒の均等な米粉ができる。それからその米粉を蒸す。「米粉を蒸すのは簡単そうだが、やってみると難しいんだぞ。こねるときの力の入れ方や、火加減や、蒸す時間の長さや、決していい加減にはできないんだ。うまい餅を作れるかどうかは米粉の蒸し方にかかってるんだから」と祖父は言った。

蒸し上がったばかりの米粉はほかほかと湯気を立て、柔らかく粘り気がある。祖父はそれを石臼に移すと、すぐにつき始める。きねは人の背丈の半分ほどもあり、それが何度も上下に動かされるが、力の入れ具合と角度は毎回少しずつ違う。祖父がきねを振り上げると、祖母は素早く石臼の中に合いの手を入れ、餅を外から中に折り込むように返してこねる。二人は一言も交わさないのに、息がぴったり合っている。何十年も変わらぬ二人の暮らしそのままに。

つき上がった餅はガーゼを敷いたテーブルに載せられ、塊に分けられて、伸ばして形を整えられるのを待つ。

刚刚蒸好的米粉冒着热气，又软又糯。爷爷把熟米粉移入石臼之中，就要开始捶打了。木锤有半人高，一起一落，每一次的力度和角度都不完全一样。每当爷爷的木锤举起，奶奶就迅速地在石臼中翻面揉搓，两个人不言不语，配合默契，就像他们几十年如一日的的生活一样。

打好的年糕被放到垫着纱布的桌面上，分成一团一团，等待压制成型。这时候，爷爷会让我们每个人揉搓几个年糕圆团，用“福”字模子压印。待到年夜饭时，猜猜哪个年糕是哪个孩子做的，又是此起彼伏一阵欢声笑语。

除了给自己家打年糕，爷爷还繁忙地穿梭在乡里乡间。打年糕是个力气活，蒸好的米粉黏性很强，木锤砸下去容易，拔出来反而费力，身强力壮的成年男子打十几下，往往就精疲力竭了，所以通常都是两三人轮流上阵。打年糕的那些天，砰砰砰的捶打声和浓浓糯米香萦绕在水乡，乡情也像这糯米一样，越来越粘、越来越浓。

如今，用机器做年糕已经非常方便了，但爷爷这一代的老辈人却仍然选择手工年糕，他们觉得机器做的年糕少了年味儿。

兄弟姐妹们长大后都离开了家，天南海北，难得一见。但每到年节都会赶回家，在爷爷奶奶的院里吃上一顿团圆饭。忙忙碌碌的工作和生活驱赶着过去的这一年，马上又要过年了，又能回到爷爷奶奶家吃这带着浓浓年味儿的年糕了。

没想到这几天却从老家传来一个消息，爷爷不小心摔了一跤，所幸双手撑地，只是伤了胳膊，其他都无恙，但正因为如此，今年过年爷爷不能亲自打年糕了。听爸爸说，这些天爷爷有些不开心，还时不时看着自己的木锤叹气。小弟是个机灵鬼，从小点子最多。他在微信群里提议，今年过年大家各自带一款自己所在城市的年糕回家，让打了几十年年糕的爷爷尝尝不同的风味，开开心心。真是个好主意！

回家的时刻越来越近了。我刚离开家到南方上大学的时候，交通还很不方便，要坐船再转飞机，现在



このとき、祖父は私たちそれぞれに餅を丸めさせ、「福」の字の押し型で印を付ける。

年越しの食事の際、どの餅をどの子が丸めたのかを当てっこして、また食卓のあちこちから歓声上がる。

自分の家の餅をつくだけでなく、祖父は忙しく村のあちこちを行き来する。餅つきは力仕事で、蒸し上がった米粉は粘り気が強

く、きねを振り下ろすのは簡単でも、抜くときには力が要るので、筋骨たくましい成年男子でも十数回

つくと、たいてい力尽きてしまう。そのため通常は2、3人が交代で、きねを振るうのである。餅つきの日には、ペタンペタンとつく音ともち米の濃厚な香りが水郷に漂い、ふるさとに寄せる思いもこのもち米のように、ますます粘り気を帯び、ますます色濃くなる。

今では餅つき機ができ、非常に便利になったが、祖父と同世代のお年寄り、やはり餅を手作りする方を選ぶ。機械で作る正月の餅では年越しの気分が出ないと感じるのだろう。

私たち兄弟姉妹は成長するとみな家を出て、遠く離れて暮らすようになり、なかなか会えない。それでも春節には誰もが実家に帰り、祖父母の家で年越しの食卓をともに囲む。仕事や暮らしにあくせくしている間に一年は過ぎ去り、さあもうすぐ新年だ、祖父母の家に帰って年越し気分あふれる正月の餅が食べられる、というわけである。

ところが思いがけないことに、数日前、実家から知らせが来て、祖父がうっかり滑って転んでしまったという。幸いとっさに地面に両手をついたので、腕をけがしただけで済み、ほかに異常はないのだが、そのため今年の年越しは祖父自ら餅つきをすることができなくなった。父が言うには、ここ何日か祖父は機嫌が悪く、しょっちゅう自分のきねに目をやってはため息をついているとのことであった。弟はよく気の回る男で、小さいころから機転が利いた。弟はWeChatのグループチャットで、「今年の年越しはみんながそれぞれ自分の住んでいる町の正月の餅を持って帰省し、何十年も餅つきを続けてきたじいちゃんにいろいろな味の餅を味わってもらって喜ばせようじゃないか」と提案した。まさしくグッドアイデアである！

帰省の時間がいよいよ近づいてきた。私がか家を離れて中国の南部の大学に入ったばかりのころは、交通の便がすこぶる悪く、船に乗ってからさらに飛行機に乗り継がなければならなかったが、今は高速鉄道が祖父母の家がある町まで通っている。帰省当日、私は朝、家を出ると紅亀粿(亀の形をした赤い餅)を買って荷物の中に入れた。昼食のときには早速この



真っ赤な餅が実家の食卓に上ったのである。

紅亀粿はもち米で作る福建、台湾地区の伝統的なスイーツである。福建南部の民間

では旧暦の正月9日は玉皇大帝の誕生日だと伝えられ、餅を供えて拝むことになっていて、「初九拜天公」と呼ばれている。その際用いられるのがこの紅亀粿である。福建南部の人は餅を通して神に意思を伝え、天候が順調で五穀豊穡となるよう祈るのである。私たちの江南地方の餅と似ているのは、福建南部の餅もまた、まず水に漬けたもち米をすりつぶしてペースト状にし、水気を切ってできた米粉を材料とするところである。かき混ぜてこねる際、紅花米を加えるため、米粉は鮮やかな赤色になる。違うところは、福建南部の餅は先についてから蒸し、よくかき混ぜてこね、伸ばして皮をこしらえ、あずきやもち米、ごまで作った甘いあんを包み、芭蕉の葉を敷いてからせいろに入れることである。

却是高铁已经修到了爷爷奶奶家的镇上。回家那天，我早上出门买一份红龟粿带上，午饭时这份红彤彤的年糕就被端到了家里的餐桌上。

红龟粿是福建、台湾地区的传统糯米甜点。闽南民间传说农历正月初九是玉皇大帝的生日，要供奉年糕祭拜，这叫“初九拜天公”，用的就是红龟粿。闽南人通过年糕与神明沟通，祈求风调雨顺、五谷丰登。和我们江南年糕相似的是，闽南年糕也是先将浸泡过的糯米研磨成米浆，去除水份后留下米粉做原材料。因为搅拌揉捣时加入了红花米，所以米粉是艳丽的红色。不同之处在于，闽南年糕是先捣后蒸，在搅拌揉捣后揉成皮，包入豆沙、糯米、芝麻做的甜馅，再用蕉叶垫底后放入蒸笼。

爷爷品尝着南方的香甜，连连点头称赞，转头又遗憾地说，要不是今年伤了手，咱们自己打出的年糕也可以试着包上馅儿。第一次回家过年的大嫂笑着说：“爷爷，不用捶打也能吃年糕，我们东北的年糕就是撒出来的，明儿我给您露一手。”好家伙，难怪没见哥嫂一家带年糕回来，原来是直接把年糕师傅搬来了。

第二天一早，大嫂就在厨房里忙开了。她把从东北老家带来的黄米面搁进大盆里，一点一点地兑

祖父は南部の甘い餅を味わいながら、しきりにうなずいてうまいと褒めた。それから残念そうに、今年手をけがしなかったら、自分でついた餅にあんを包んで試してみることもできたのと言った。初めて私たち実家で新年を迎えた兄嫁は、「おじいさん、きねでつかなくてもお餅は食べられますよ。私たちの東北地方のお餅はまいて作るんですから。明日、作ってご覧に入れますね」と笑いながら言った。なるほどそういうことだったのか。兄の一家が餅を持参しなかったのは、餅づくりの料理人が直々にお出ましになったからなのである。

次の日の朝、兄嫁は台所で忙しく立ち働いた。東北地方の実家から持って来たもちきび粉を大きなボウルに入れ、少しずつ水を加えて混ぜる。この過程は「使漿」と呼ばれ、もちきび粉のダマが残らず、飛び散らず、そして塊ができないように、水分がちょうどいい具合になじむよう指でほぐしながら混ぜ合わせるには、手の感触に頼るしかない。「撒年糕」を作るときは、まず蒸し器いっぱいインゲンマメとナツメを敷

上水。这个过程叫“使浆”，面粉既不能出颗粒，又不能散花，还不能成团，分寸的拿捏，全凭手感。

撒年糕的时候，先往蒸锅里铺上满满一层芸豆和大枣，等到热气上来，开始一层一层地撒面粉，每撒一层都要等蒸汽上来再撒下一层。

据说锅有多高，年糕就能蒸多高。撒到最后一层，用芸豆、大枣封顶，盖锅蒸透。稍稍放凉之后，这一锅厚厚的年糕就出锅了。和我们江南年糕大不同，东北年糕是不用通过捶打的，全靠黄米自身的粘性，吃起来口感粗糙一些，但对于牙口不好的老人家来说更加软和，还有一股黄米独特的香味。

大嫂撒东北年糕的时候，小弟也在忙着加工他带回来的日本年糕。他带回来的这款异国风味倒是和我们老家的年糕长得最像，都是白白胖胖的，也是将蒸软的糯米放在石臼里杵捣制成的，但烹饪的方法却与我们大不相同，是在炉火上烤制，直冲而上的热气把年糕的表面烘出一个鼓包。闻见微微的焦香时翻面，烤至两面微焦，每一块年糕鼓出来的造型都不一样。烤熟之后将年糕戳破，倒入少许日式酱油。吃惯了甜口味，这道鲜咸的年糕别出心裁，另有一番风味。

年夜饭上，爷爷端起酒杯：“每年都是爷爷给你们打年糕，今年吃着孩子们从各地带来的年糕，真是大开眼界，大饱口福啊。”他看着奶奶，“老太婆，等我养好了手上的伤，我们也到处走走看看。打了一辈子年糕，也得认识一下别的年糕呀。”一家人都乐了，共同举杯祝福。来自各地的各种风味年糕定格在了团圆美满的全家福上，期许着一年更比一年高。



き詰め、湯気が上がってきたら、その上にもちぎび粉をまんべなくまき散らし一段目とする。一段ずつ粉をまいては湯気が上がるのを待ち、そして次の段に移るとい手順を繰り返す。蒸し器が深ければ深いほど、餅も厚いものができるという。最後の段までまき終わったら、インゲンマメとナツメをその上に並べ、ふたをしてしっかり蒸し上げる。少し冷ませば、ずっしりと厚みのある餅の出来上がりである。私たちの江南の餅とはだいぶ違って、

東北地方の餅はつかないで、すべてもちぎび自体の粘り気に頼るのである。食べると口当たりはややざらざらしているが、歯の悪いお年寄りにはこの方が柔らかくていいし、もちぎび独特の香ばしさもある。

兄嫁が東北地方の餅を作る間、弟も自分が持って来た日本の餅に手を加えるのに忙しかった。弟が持ち帰ったこの異国の味は、私たちの実家の餅と外見がよく似ていて、同じように真っ白でふっくらしている。やはり蒸して柔らかくなったもち米を石臼に入れてきねでついて作るのだが、調理の仕方は私たちのとはだいぶ違って、こんろの火で焼くのである。立ち上る熱によって餅の表面がたんこぶみたいに膨れ上がる。かすかに焦げたような匂いがしてきたら裏返して、裏も表もこんがり焼く。それぞれの餅が膨れ上がってできるたんこぶはみな形が違う。しっかり焼けたら餅に和風のしょうゆをさっとつける。甘い餅を食べ慣れている人にとっては、ちょっと塩辛いこの餅を食べるのもまた一興で、別の風味を味わうことができる。

年越しの夜の食卓で、祖父は杯を挙げて、「毎年じいちゃんがみんなに餅をついてやるんじゃが、今年は孫たちみんながあちこちから餅を持ち寄ってくれた。大いに世界が広がったし、うまいものもいただいて、まったくわしは幸せ者じゃよ」と言った。それから祖母の方を向いて言うには、「ばあさんや、わしの手の手がが治ったら、わしらもあちこち出かけてみるとしよう。ずっと餅をついてきたが、ほかの餅も知っておかなくちゃな」。家族みんなが笑い、ともに杯を挙げ、「おめでとう」と言い合った。各地からもたらされたさまざまな風味の餅が家族そろった幸せな食卓に上り、年ごとにどんどん暮らしがよくなるという期待でいっぱいにくれたのであった。❶

新年

祝
福

组稿：何敏 何敏

新年祝い

中文名
阮玉璃

母语名
Nguyễn Ngọc Ly

国籍
越南

🎆 吉祥如意的2023年钟声即将敲响，愿您新的一年有一片健康的天空、一汪友谊的海洋、一段幸福的爱情、一位忠诚的爱人、一番有成的事业、一个美满的家庭。祝您和您的家人在新的一年里万事如意，财源广进，一帆风顺！2023，等不及了！

Năm 2023 đầy may mắn sắp gõ cửa rồi, chúc bạn năm mới có một bầu trời sức khỏe, một đại dương tình bạn, một mối tình hạnh phúc, một người yêu chung thủy, một sự nghiệp thành công và một gia đình mỹ mãn. Chúc bạn và cả gia đình bạn sang năm mới vạn sự như ý, cung hỉ phát tài, thuận buồm xuôi gió! 2023, không đợi được nữa rồi!

中文名
静远

母语名
ياسين التزارني

国籍
摩洛哥

🎆 新春已至，问候由心而起，祝福缓缓送去。新一年，新气象，愿朋友2023年生活美美满满，事业红红火火，财源滚滚而来，幸福永永远远！

تحيات و دعوات دافئة من قلوب بمناسبة حلول العام الجديد ، أتمنى للأصدقاء حياة سعيدة في عام ٢٠٢٣ و حياة مهنية مزدهرة ، ثروة كثيرة ، وسعادة إلى الأبد.

中文名
马里奥

母语名
MARIOS SOTIRIOU

国籍
塞浦路斯

🎆 如果2023年是一颗星星，愿它是太阳，燃烧邪恶。如果2023年是一个自然元素，愿它是水，以扑灭2022年点燃的火。如果2023年是一个愿望，那么愿它是你们生活中的所有幸福。

Αν το 2023 ήταν πλανήτης, να είναι ο ήλιος για να κάψει το κακό. Αν ήταν στοιχείο της φύσης να είναι νερό για να σβήσει την φωτιά που άναψε το 2022, και αν ήταν ευχή τότε να είναι η ευτυχία στην ζωή όλων σας.

中文名
沈明灿

母语名

سناة سواق (英语: Sanae Saouak)

国籍
摩洛哥

🎋 新年到，新春到。愿融化的雪花带走所有的悲伤，愿阳光温暖你们每一天，愿风吹走你们的忧虑，愿新的一年带给你们运气和财富，愿新的一年世界充满善良、和平和宽容，愿新的一年是充满卓越和成就的一年，愿今年我们都能实现梦想和愿望。愿新的一年一切顺利！身体健康！生活美满！兔年快乐！

لقد حان العام الجديد ، وقد حل الربيع الجديد . أتمنى أن يزيل الثلج الذائب كل الأحزان ، و تدفئ الشمس كل أيامكم ، و تذهب الرياح همومكم ، أتمنى أن يجلب لكم العام الجديد الحظ الجيد والثروة ، أتمنى أن يمتلئ العالم باللطف والسلام والتسامح في العام الجديد ، و أن يكون عام التميز والإنجاز و عام تحقيق كل أحلامنا وتطلعاتنا. أتمنى لكم في العام الجديد صحة جيدة ، عملا ناجحا و حياة هنيئة ، عام أرنب سعيد

中文名: 韩光熙

母语名: 한광희

国籍: 韩国

中文名: 金雨露

母语名: CHATKAEW THONGCHUEA

国籍: 泰国

中文名: 王闻萌

母语名: รัตนรัตน์ รังสิวิวัฒน์

国籍: 泰国

🎋 2023年是我毕业的一年。一定要毕业，怀着喜悦的心情去海外旅行。毕业之后当然要准备就业了，预计会相当忙。当然，希望全家人不要生病，健康地生活。

저는 2023년에 졸업할 예정입니다. 꼭 졸업해서 기쁜 마음으로 해외 여행을 가고 싶습니다. 졸업하고 나서는 당연히 취업 준비를 해야 할 겁니다. 많히 바쁠 거라 예상입니다. 우리 가족들이 아프지 않고 건강하게 지냈으면 합니다.

🎋 开春兔年，小兔为您送上新春祝福，祝您四季安康，好运无穷，顺心多笑，生活甜蜜，一切均好，轻松欢乐，幸福满满，虎虎告别，新的一年，笑口常开，新年快乐！

ปีเถาะวนมาบรรจบ กระต่ายน้อยเป็นตัวแทนส่งความสุข ขอให้ท่านมีความสุขกาย สุขภาพใจที่แข็งแรง โชคดีมีรอยยิ้ม สมหวังในสิ่งที่ปรารถนา ปีขาลโบท้อมก็ลา ยิ้มต้อนรับปีเถาะ สวัสดปีใหม่ นะคะ

🎋 再见旧年，你好新年！

祝大家新年快乐，更希望大家不用新年也能快乐。在新的一年里，请大家把不好的事情扔在2022年，2023年我们重新开始吧！

ลาก่อนปีเก่า สวัสดปีใหม่ สุขสันต์วันปีใหม่ หวังว่าแม่ไม่ใช่วันปีใหม่ ก็ขอให้สุขสันต์ ได้โปรดนำสิ่งที่ไม่ดีทิ้งไว้ในปี 2022 แล้วปี 2023 มาเริ่มต้นกันใหม่เถาะ 🎋



上海外国语大学
SHANGHAI INTERNATIONAL STUDIES UNIVERSITY



Integrity, Vision
and Academic Excellence

English

Taught

GRADUATE

Program

Master in China Studies
Master in International Relations
Master in Chinese Media and
Global Journalism
Master in Global Communication
Master of Business Administration
Master of Finance
Master of Comparative Education
Ph.D Program in China Studies
Ph.D Program in Global Communication



《孔子学院》征稿函

《孔子学院》由中国国际中文教育基金会主办、上海外国语大学协办，拥有标准国际连续出版物刊号（ISSN）和中国国内统一刊号（CN），该刊为双月刊，有中英、中法、中西、中俄、中德、中意、中葡、中阿、中泰、中韩、中日 11 个中外文对照版，面向全球发行。

《孔子学院》设有“文化视窗”“汉语学习”“当代中国”和“孔院链接”栏目。“文化视窗”着重介绍中国不同地区风俗民情、特色文化和非遗（物质）文化传承等；“当代中国”旨在展示当地的最新发展，呈现中国百姓的日常生活、流行与时尚。2023 年拟依序介绍安徽省、江西省、贵州省、青海省、黑龙江省和广东省。“汉语学习”关注国际中文教与学的方方面面；“孔院链接”以汉语教师和学习者为主，聆听他们汉语教与学的故事。

投稿须知：

1. 文稿完整，包括题目、正文、署名和作者简介、作者联系方式。
2. 文字简洁，突出叙事性、趣味性和文化性，字数以 800—2500 为宜，中文、外文、中外文对照皆可。
3. 欢迎提供配图和图片说明，图片大小不低于 3MB，分辨率为 300dpi 以上，单独以附件形式发送。
4. 咨询、投稿邮箱：ci.journal@ci.cn。编辑部将在收稿 10 个工作日内予以回复。

免责声明：投稿稿件要求原创、首发，稿件中不得含有任何违法内容，不得侵犯他人名誉权、隐私权、商业秘密等合法权益，否则引发的法律责任由投稿人承担。一经投稿，即视为作者同意将作品多语种的修改权、复制权、汇编权、翻译权、信息网络传播权及电子数码产品版权等著作权（署名权、保护作品完整权除外）在全球范围内转让给《孔子学院》编辑部。

——《孔子学院》编辑部



『孔子学院』の原稿募集について

『孔子学院』は、中国国際中文教育基金会在上海外国语大学の協力を得て発行する刊行物であり、国際標準逐次刊行物番号（ISSN）と中国国内統一刊行物番号（CN）を持ち、グローバルに展開されています。隔月刊行の本誌には、中国語と英語、フランス語、スペイン語、ロシア語、ドイツ語、イタリア語、ポルトガル語、アラビア語、タイ語、韓国語および日本語などの 11 カ国語との対照版があります。

『孔子学院』は、主に海外の中国語学習者、中国語教師、及び国内の中国語教師、さらに中国の今を知りたい世界各国の読者を対象としています。創刊の趣旨は、国際的な中国語教育をサポートし、中国語の知識を教え、中国の習慣や民俗文化を紹介することです。また、本誌は中国語の教育と学習、中国人の日常生活、流行や社会の発展に焦点を当て、海外の中国語学習者が中国語を学び、現代中国を理解するというニーズに応え、それを満たそうとしています。

本誌には主に、「文化ウィンドウ」「中国語学習」「当代中国」「孔院リンク」という 4 つのコラムがあります。

「文化ウィンドウ」では、中国の各省に焦点を当て、それぞれの特色ある文化や無形文化遺産などを重点的に紹介します。「当代中国」では、中国各地の最新の発展状況を紹介することを目的として、主に事実や写真などを通して、現代中国の一般市民の暮らしを呈します。2023 年は、安徽省、江西省、貴州省、青海省、黒龍江省、広東省の順で取り上げて紹介する予定です。

「中国語学習」では、授業実践の事例、授業デザイン、授業中のちょっとしたコツや中国語の学習に関するエピソードなど、国際的中国語教育のあらゆる側面に焦点を当てます。「孔院リンク」では、中国語教師や学習者の気持ちに寄り添い、中国語の教育や学習におけるエピソード、および中国語が彼らにもたらした変化を伝えます。

執筆要領

1. 原稿は、タイトル、本文、署名、著者プロフィールと連絡先を含む完全なものであること。
2. 明確なテーマと構成を持ち、簡潔な文章で物語性、楽しさ、文化性を際立たせること。
3. 字数は 800～2500 字が望ましい。中国語、外国語、中国語 / 外国語対照のいずれも可。
4. 説明文付きの写真提供が歓迎。写真はサイズ 3MB 以上、解像度 300dpi 以上のもので、添付ファイルとして送ること。
5. お問い合わせ、投稿用メールアドレス：ci.journal@ci.cn。編集委員会は、原稿受領後 10 営業日以内に、投稿者に返信して原稿の受領を確認します。

免責事項：投稿はオリジナルで初公開のものに限る。また、違法な内容を含んでいた、他人の名誉権、プライバシー、商業秘密などの法的権利や利益を侵害していたりしてはならない。さもなければ、それらに起因する法的責任は投稿者が負うことになる。原稿が提出された時点で、著者は『孔子学院』編集委員会に、修正、複製、編集、翻訳、ネットワーク上での普及、電子デジタル製品の著作権（氏名表示権と作品の完全性を保護する権利を除く）を含む、複数言語による作品の著作権を譲渡したものとみなされる。

『孔子学院』編集委員会

敬请关注 孔子学院媒体矩阵！

12种语言说 “你好”



“孔子学院”
抖音号



“孔子学院”
微信公众号



“孔子学院”
微博



孔子学院
全球门户网站
ci.cn



孔院人的云上家园

RMB 16 / JPY 550

ISSN 1674-9693

